DVD LDプレーヤー

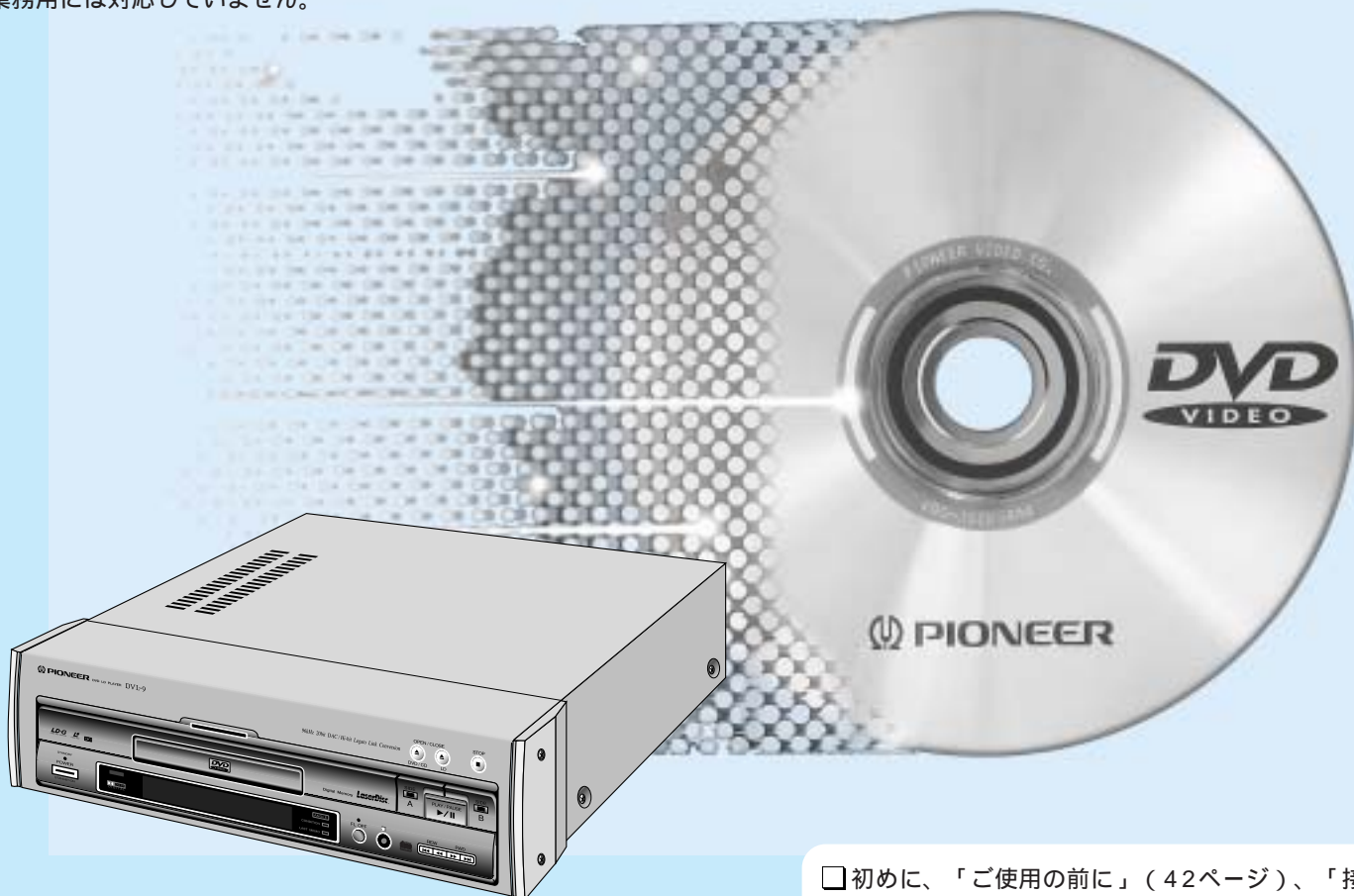
DVL-9

取扱説明書

NTSC

パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役にたちます。

●業務用には対応していません。

❑初めに、「ご使用の前に」（42ページ）、「接続のしかた」（43～47ページ）をご覧ください。

❑8～10ページをお読みいただければ、再生ができます。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

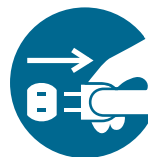
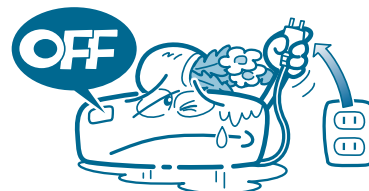
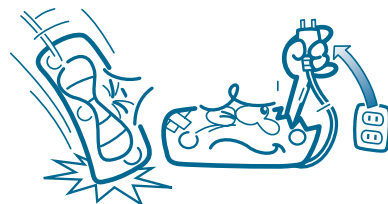
⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上の注意

⚠ 警告［異常時の処理］

●万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
本書はマークによる機能の説明をしています。

こんなことができます

本機は、DVD、LD、CD、ビデオCDが再生できるコンパチブルプレーヤーです。さらに、LDではLDグラフィックス、CDではCDグラフィックスも再生できます。多様なフォーマットのディスクを本機一台で再生ができ、大変便利です。

デジタルサラウンドアンプやサラウンドプロセッサーと接続して、5.1ｃｈドルビーデジタルサラウンド音声を楽しむことができます。（DVD，LD）＊

ＣＤより高音質な96Ｋサンプリング、量子化数20ビットのリニアＰＣＭ音声を楽しむことができます。（DVD）＊

デジタル出力端子には同軸と光の2つの出力をそなえます。また同軸は、96Ｋサンプリング、量子化数24ビットまでのストリームの出力ができます。（DVD）＊

パイオニア独自のＨｉ－Ｂｉｔレガートリンクコンバージョンにより高品位の音声を楽しむことができます。（CD，LD，DVD）

パイオニア独自の美しいＧＵＩ画面で画面を見ながらリモコンで操作ができます。（CD，Video CD，LD，DVD）

ディスクにメニューが入っていなくても、プレーヤーの持っているメニュー画面でＧＵＩ操作ができます。（DVD）

LDでは、両面（表面と裏面）を連続して再生できます。（LD）＊（P.8）

映画等で途中でやめても次に同じ状態でつづきから見ることができます。（LD，DVD）（つづき再生）＊（P.14）

静止画、コマ送りができます（Video CD，LD，DVD）＊（P.15）

いろいろな繰り返し再生ができます。（CD，Video CD，LD，DVD）（リピート再生）＊（P.19）

曲（またはチャプター）を順不同に再生することができます。（CD，Video CD，LD）（ランダム再生）（P.20）

好きなタイトルやチャプターを希望の順番に並べ替えて再生できます。（CD，Video CD，LD，DVD）（プログラム再生）＊（P.21）

ふつうの画面、ワイド画面、レターボックス画面の中からお好みの画面を選ぶことができます。（DVD）（マルチアスペクト）＊（P.24）

映画やアニメに適した画質で見ることができます。（，DVD）（シネマモード、アニメモード）（P.26）

よく見るDVDの各種設定を記録し、その記録内容を自動的に呼び出します。（DVD）（コンディションメモリー）（P.28）

再生するソフトに応じた画質調整ができます。（LD）（デジタルノイズリダクション）＊（P.31）

映画などで字幕の言語を切り替えて見ることができます。（DVD）（マルチ言語字幕）＊（P.32）

見たいシーン（アングル）を選ぶことができます。（DVD）（マルチアングル）＊（P.32）

複数の音声を収録してあるディスクではその音声を切り替えてお楽しみいただけます。（DVD）（マルチ音声）＊（P.33）

再生する映像の視聴制限レベルを選ぶことができます。（DVD）（パレンタルレベル）＊（P.40）

プレイバックコントロール（ＰＢＣ）付きビデオＣＤ（バージョン2.0）に対応し、ディスクによって2種類の再生を楽しむことができます。（Video CD）

パワーオンデモ表示
パワーオンデモ表示にすると、さまざまな表示がみられます。
パワーオンデモ表示にするには、前面の►►►►ıボタンを押しながら、電源スイッチを押してください。パワーオンデモ表示は、いずれかのボタンを押すと解除します。

＊マークはディスクによってはできないものもあります。

なるほど

DVDは12cmディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。DVDでは従来のディスクでできることに加え、多様な楽しみ方ができるように規格されています。例えば、見たいアングルに変えて楽しむとか、字幕の言語を変えたり、音声の言語を変えたりすることもできます。本機ではこれらのDVD規格に沿った機能の他にもGUI（グラフィカルユーザーインターフェース）などの独自の優れた機能を持っています。
プレーヤーはDVD規格に従ったディスクを再生することができますが、ディスクによっては例えば字幕が1種類しか入っていないものもあり、字幕切り替えができない等本説明書の記載通りに動作しないものもあります。本説明書とディスクの説明書をあわせてご覧ください。

使用上の注意

ディスクの取り扱いかた

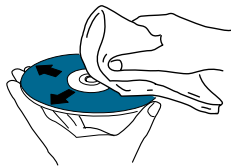
■次のマークのうち、いずれかのマーク付いたディスクをお使いください。

■保管

●必ずケースにいれ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。

●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

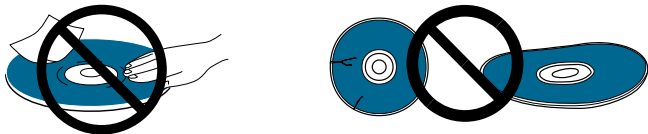
●ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音質や画質が低下することがあります。

柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

●ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。

●ディスクの清掃には別売のディスククリーニングセット（JV-D11）の使用をおすすめします。

●汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

●レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。**特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。**

レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

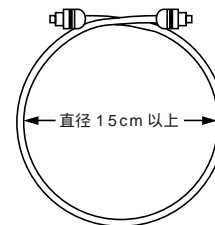
別売りの光ファイバーケーブル取扱上の注意

●急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。

●接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。

●長さが3m以下のものを使用してください。

●プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

目次

基本操作

簡単に楽しんでいただくために必要なことが書かれています。

応用操作

便利な機能やおもしろい機能を説明しています。

いろいろな設定

使いやすくするための設定方法が書かれています。

画面でいろいろな操作

本機の多彩な機能を、画面を見て設定する方法を説明しています。

準備

接続のしかたや操作前に知っておいていただきたいことが書かれています。

その他

故障かな？と思ったら / アフターサービスについて

●見出しのマークは次のような意味です。

DVD：DVD で機能する操作の説明です。

Video CD：ビデオ CD で機能する操作の説明です。

CD：CD で機能する操作の説明です。

LD：LD で機能する操作の説明です。

このマークのある操作は、本体でできます。

このマークのある操作は、リモコンでできます。

2つのマークがついている操作は、本体・リモコンのどちらからもできます。

本機で再生できるディスクの種類

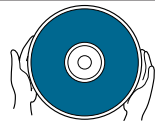
本機は、DVD LD CDビデオCDコンパチブルプレーヤーです。

●下表に表示されたマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
本機は下記のディスクをアダプター無しで、再生することができます。

●故障などを防ぐため、8cmアダプター（CD用）は使わないでください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面		最大再生時間
DVD	DVD		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	12cm/片面	1層	133分（4.7GB）
		2層	242分（8.5GB）
	12cm/両面	1層	266分（9.4GB）
		2層	484分（17GB）
	DVD		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 2 方式）
	8cm/片面	1層	41分
		2層	75分
	8cm/両面	1層	82分
		2層	150分
ビデオCD COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	VIDEO CD 12cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 74分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面		デジタル音声 デジタル映像 （MPEG 1 方式） 20分
CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO CDグラフィックス GRAPHICS	CD 12cm/片面		デジタル音声 74分
	CDシングル 8cm/片面		デジタル音声 20分

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間	
CDV CD VIDEO	CDV 12cm/片面	デジタル音声20分 デジタル映像 ＋映像　5分	
VSD VIDEO SINGLE DISC	VSD 12cm/片面	デジタル音声 ＋映像　5分	
レーザーディスク LASER DISC LaserVision CD VIDEO LD LD·G LASER DISC GRAPHICS （LDグラフィックス）	LD 30cm/両面	CAV	1時間
		CLV	2時間
	LD 20cm/両面	CAV	28分
		CLV	40分
	LDシングル 20cm/片面	CAV	14分
		CLV	20分

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合しています。
上記以外のディスクは使用できません。
＊ DVDの再生時間は、1秒間に4.7メガバイトを転送したものです。

ご注意

●リージョンNo.（53ページ、用語を参照）が日本地域番号である「2」を含んでいないDVDは再生できません。

ディスクの持ちかた

	LD	DVD、CDなど
両手で持つ場合 ディスクの両端をはさんで持つ。		
片手で持つ場合 中央の穴と外周部に指をかけて持つ。		

基本操作

応用操作

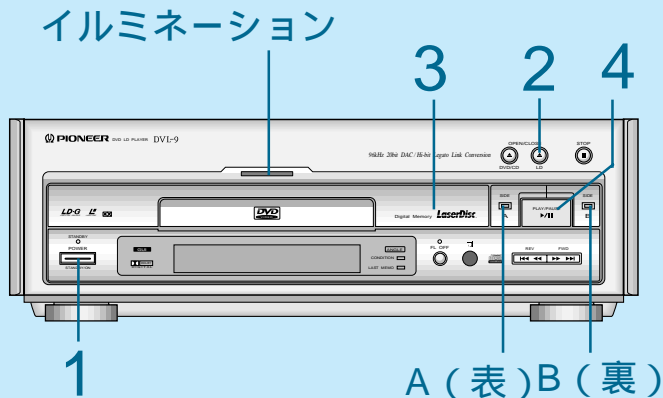
LDを再生する

LD ディスクテーブル

A面、B面を指定して再生するには

●LDの両面ディスクでA面とはディスクテーブルに置いたときの上側をさし、B面は下側をさします。ディスク自体に記録されたA面、B面とは異なります。
たとえば、SIDE A と書かれたレーベル面を上にして置きA面だけを再生するには再生▶/⏸ボタンを押さずにディスクサイドAボタンを押します。A面を再生後、停止します。B面だけを再生するには、再生▶/⏸ボタンを押さずにディスクサイドBボタンを押します。B面を再生後停止します。
SIDE B と書かれたレーベル面を上にして置くとAボタンでB面、BボタンでA面を再生します。
●リモコンの DISC SIDE A/B ボタンは、押すごとにA面（SIDE A)、B面（SIDE B）に切り替わります。表示窓で確認できます。

ご注意

●ディスクテーブルの溝からずれてディスクをセットしたり、一度に2枚のディスクをセットすると正しく演奏できないばかりか、ディスクを傷つけたり故障の原因となります。また、ディスク以外のものをディスクテーブルにのせないでください。
●以前に再生したディスクの種類や開閉したディスクテーブルの種類により再生を開始する時間が異なることがあります。

1 POWER ボタンを押す

● STANDBY インジケーターが消灯します。

2 OPEN/CLOSE▲ ボタンを押す

●前面では **LD OPEN/CLOSE▲ ボタン**を押します。
●プレーヤーに LD 以外のディスクが入っているときには、前面の **LD OPEN/CLOSE▲ ボタン**を押します。
● LD ディスクテーブルが出てきます。

3 ディスクを置く

● LD の片面ディスクはレーベル面を上に、両面ディスクは見たいレーベル面を上にして、ディスクのガイドに合わせて置きます。

4 ENTER▶ ボタンを押す

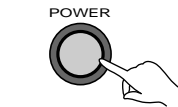
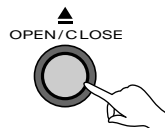
●前面では **PLAY/PAUSE▶/⏸ボタン**を押します。
● LD の両面ディスクでは、A面を再生中にA面の最後まで再生すると自動的にB面に反転し、B面を再生します。

DVD/CDを再生する

1

POWERボタンを押す

● STANDBYインジケーターが消灯します。

2

OPEN/CLOSE▲ボタンを押す

●前面では、**DVD/CD OPEN/CLOSE▲ボタン**を押すと、DVD/CDディスクテーブル（下図）が出てきます。
●LDディスクテーブルを出し入れした後やLDを再生後、リモコンの**OPEN/CLOSE▲ボタン**を押すと、LDディスクテーブルが出てきます。

3

ディスクを置く

●レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

4

ENTER►ボタンを押す

●前面では**PLAY/PAUSE►/II ボタン**を押します。
●再生が始まります。
●ディスクによっては、メニュー（選択画面）になります。メニューが映った場合は、次ページを参照してください。

おや？ 再生できない

●再生可能地域番号（リージョンNo.）（51ページ用語を参照）が含まれていないＤＶＤは再生できません。（本機の再生可能地域番号は「2」です。）
● DVD-Video以外のDVDは再生できません。

便利な機能

オートパワーオン機能

●電源が「切」のときに、ディスクテーブルを出したい時は、前面の**OPEN/CLOSE▲ボタン**を押してください。自動的に電源が入り、ディスクテーブルが出てきます。
●ディスクを入れたまま電源を切った時は、前面の**ＰＬＡＹ/PAUSE►/IIボタン**またはリモコンの**ENTER►ボタン**を押すと、自動的に電源が入り再生を開始します。

表示窓を消灯

FL OFFボタンを押すと表示窓の表示が消えます。もう一度押すと、表示窓の表示が出ます。

なるほど

DVDでは、再生を停止後、メニューなどを使ってタイトルを指定せずに再生した時は、前と同じタイトルを再生します。

ご注意

以前に再生したディスクの種類や開閉したディスクテーブルの種類により再生を開始する時間が異なることがあります。

で   を

選択画面（メニュー）を選んで再生する

DVD、ビデオ CD では、ディスクによってメニュー（選択画面）機能を持っているものがあります。

本機では、次のようなメニューから選んでお好みのタイトルや曲が選べます。

再生のしかた

1 ENTER ► ボタンを押す

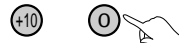
●メニュー画面が表示されます。メニュー画面は、ディスクに記録されたものです。ディスクごとに異なります。
●ＤＶＤでは、メニューを収録したディスクでは、前面の GUI インジケーターが点灯します。
●ビデオ CD では表示窓に PBC と表示されます。

例）
1 ポップス
2 ジャズ
3 カントリー
4 R&B
5 クラシック
次►► ― さらにメニューがあるとき

2 数字ボタンで選ぶ

●10 以上を選ぶ場合は、+10 ボタンを使います。

例 1．10 を選ぶとき

 →

例 2．17 を選ぶとき

 →

例 3．20 を選ぶとき

 → →

●選んだタイトルまたは曲を再生します。
●ＤＶＤ では、**▲、▼ ボタン**で番号を選んで、その後 **ENTER► ボタン**を押しても選べます。

再生中にメニュー画面に戻るには

RETURN ボタンを押す。

再生を止めるには

●次の 2 つの方法で停止します。
OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押す
STOP■ ボタンを押す。
●ＤＶＤのディスクに記録されたメニューを操作するとき、リモコンの **STOP■ボタン**を 2 秒程度押し続けると画面に"ストップ?"と表示します。また、GUI インジケーターが消灯している、またはビデオＣＤを再生しているとき、リモコンの **STOP■ボタン**を押した場合も同様に"ストップ?"と表示します。数秒後に"ストップ?"の表示は消えますが、表示中にもう一度 **STOP■ ボタン**を押すと停止します。

次のメニュー画面にするには

NEXT►►I ボタンを押す。

前のメニューに戻るには

PREVI◄◄ ボタンを押す。

1 つ前のメニュー画面に戻るには

RETURN ボタンを押す。
●押すごとにひとつずつ前のメニュー画面に戻ります。

動画を一時停止（静止）させるには

PAUSE II ボタンを押す。
●解除するにはもう一度 **PAUSE II ボタン**を押してください。

ディスクによっては、上記の操作ができないものがあります。

なるほど

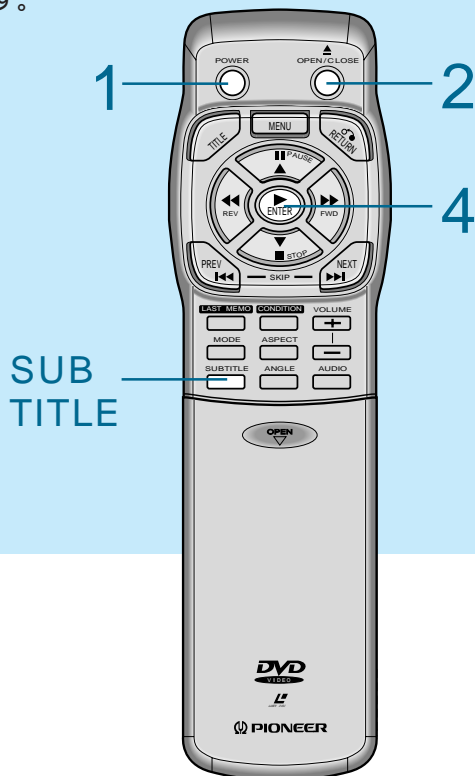
●メニュー内容はディスクによって異なります。**方向ボタン（◄・►・▲・▼）、ENTER► ボタン、数字ボタン**を使ってメニューに応じた再生をお楽しみください。
●**ビデオ CD ではメニューを出さずに再生することもできます。**停止中に**数字ボタン**を押します。例えば、トラック 1 から再生するには、**数字ボタン**の 1 を押します。

ご注意

●ビデオＣＤ では、メニューを表示して再生したときは、PROGRAM、RANDOM、REPEAT、CHP/TIME の機能は働きません。これは、メニューを使ってインタラクティブ（双方向）に操作できるからです。
●ビデオＣＤでは、**方向ボタン（◄・►・▲・▼）**としては使用できません。

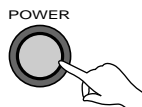
LD/CD グラフィックスを再生する

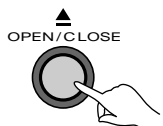
ディスクの記録フォーマットには、映像や音声を記録する場所以外にサブコードと言う記録場所があります。ここに、映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。
LD グラフィックスディスクには LD·G マークが付いています。CD（または CDV）グラフィックスディスクには GRAPHICS マークが付いています。グラフィックスはこれらのディスクを使用したときにお楽しみいただけます。

おや？

● **あれっ？グラフィックス映像が出ない**
LD/CDグラフィックスディスクを使用していて、グラフィックスをオンにしてもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていないことが考えられます。このような場合、電源を一度切り再び電源を入れてください。

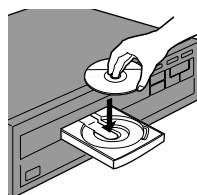
●グラフィックスが記録されていないディスクを再生すると、まれに誤ったグラフィックス映像が出ることがありますが、故障ではありません。グラフィックスが記録されていないディスクを再生するときは、必ずグラフィックスをオフにしてください。

●LD/CDグラフィックス対応ディスク再生時に、次の操作をするとグラフィックス映像の文字が欠ける、画面と文字、画面と画面、文字と文字が重なる、画面や文字の色が変わることがありますが故障ではありません。しばらくすると、正しいグラフィックス画像になります。
○早送り、早戻し
○一時停止
○サーチ
○グラフィックスコントロール画面でグラフィックスをオンにする
○セットアップメニューを表示する
○プログラムを入力する

1

POWER ボタンを押す

2

OPEN/CLOSE▲ ボタンを押す

●ディスクテーブルが前面に出てきます。

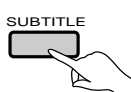
3

グラフィックス対応の LD/CD をセットする

●レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

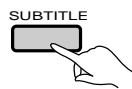
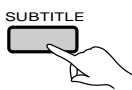
4

ENTER► ボタンを押す

●再生が始まります。
●グラフィックスがオフでも CD グラフィックスを再生すると、自動的にグラフィックス映像が出ます。

5

SUBTITLE ボタンを押す

● LD ではグラフィックチャンネル 0 と 1 がオンになり、グラフィックスモード 1の表示が出ます。もう一度押すとグラフィックスチャンネル 2 がオンに変わり、グラフィックスモード 2 の表示が出ます。
● CD では、グラフィックスオンの表示が出ます。

グラフィックスをオフにする

LD ではグラフィックスモード 2 からもう一度 SUB TITLE ボタンを押す

CD ではグラフィックスオンからもう一度 SUB TITLE ボタンを押す

終了する

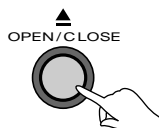
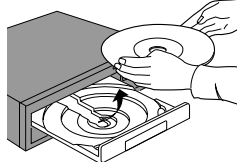
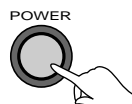
1 リモコンの STOP■ボタンを 2 回押すまたはリモコンの OPEN/CLOSE▲ ボタンを 1 回押す

●前面の **STOP■ ボタン**や再生中でのリモコンの **OPEN/CLOSE▲ ボタン**は、２回押す必要はありません。
●再生が終わります。

2 OPEN ／ CLOSE▲ ボタンを押す

●ディスクテーブルが前面に出てきます。

3 ディスクを取り出す

DVD/CD のとき

LD のとき

4 電源ボタンを押す

●ディスクテーブルが閉まり、電源が切れて STANDBY インジケーターが点灯します。

ご注意

●DVDディスクによってはカーソルボタンで項目を選択するものがあります。このようなディスクでは、GUI インジケーターが点灯し、リモコンの ボタンは方向ボタンとして働きます。また、誤操作を防ぐため、ＤＶＤでメニュー操作をしているとき以外で、前面のGUIインジケーターが点灯しているときは、リモコンの **STOP■ボタン**を２秒程度押し続けると画面に"ストップ?"と表示します。また、前面の GUIインジケーターが消灯している、またはDVD以外のディスクを再生しているときに、リモコンの**STOP■ボタン**を押したときは、画面に"ストップ?"と表示します。数秒後に"ストップ?"の表示は消えますが、表示中にもう一度 **STOP■ボタン**を押すと停止します。
●再生中に **OPEN/CLOSE▲ ボタン**を押すと、再生を終了します。（停止ボタンとして働く）

便利な機能

DVD または LD のつづきから見るには

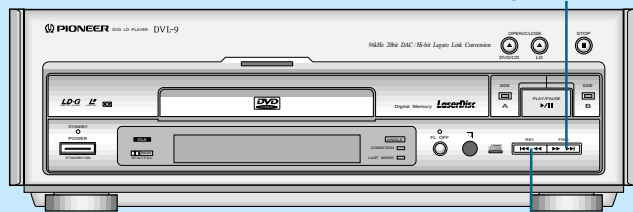
DVD または LD では途中まで見たあと続きから見ることができます。くわしくは、14 ページの「つづきから見る」をご参照ください。

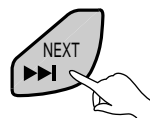
再生を一時止めるには

PLAY/PAUSE►/II ボタン（リモコンの場合は **PAUSEII**）を押します。音が消え、表示窓に PAUSE が表示されます。もう一度、**PLAY/PAUSE►/II ボタン**（リモコンの場合は **ENTER►**）を押すと、止めたところから再生が始まります。

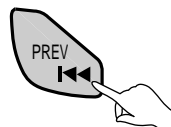
● DVD、LD、ビデオ CD では、静止画になります。
● 長時間、一時停止状態のままにしておくと、モーター寿命を縮める原因となりますので、約20分間一時停止状態が続くと自動的に停止します。（ポーズタイマー）

チャプター（トラック）を進める／戻す

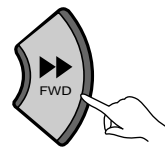
●次のチャプターへ進む
●早送り

●前のチャプターへ戻る
●早戻し

■次のチャプター（トラック）へ進む

NEXT▶▶| ボタンを押す

●押した回数だけ次のチャプター（トラック）に進みます。
●前面の ▶▶ ▶▶| **ボタン**を押し続けると、早送りになります。

■前のチャプター（トラック）へ戻る

PREV|◀◀ ボタンを押す

●１度押すと再生しているチャプター（トラック）の初めに戻ります。
●さらに押すと前のチャプター（トラック）に戻ります。
●前面の |◀◀ ◀◀ **ボタン**を押し続けると、早戻しになります。

■早送りのしかた

FWD▶▶ ボタンを押し続ける

●目的のところまできたら**FWD▶▶ボタン**を離します。続きを再生します。

■早戻しのしかた

REV◀◀ ボタンを押し続ける

●目的のところまできたら **REV◀◀ ボタン**を離します。続きを再生します。

DVD

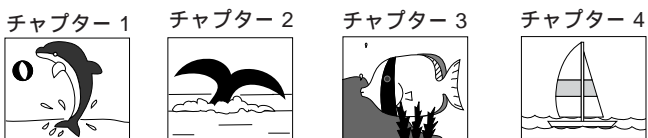
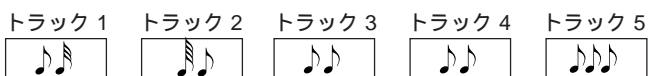
タイトル１ ／ タイトル２

チャプター１　チャプター２　チャプター１　チャプター２

LD

チャプター１　チャプター２　チャプター３　チャプター４

CD

トラック１　トラック２　トラック３　トラック４　トラック５

チャプターって何？
DVD では、ディスクの中をタイトルで分け、さらにタイトルの中をチャプターで分けています。LDでは、いくつかのセクションを区切って番号付けしたものをチャプターと呼んでいます。ＣＤではトラックと呼んでいるものを DVD や LD では チャプターと呼んでいます。

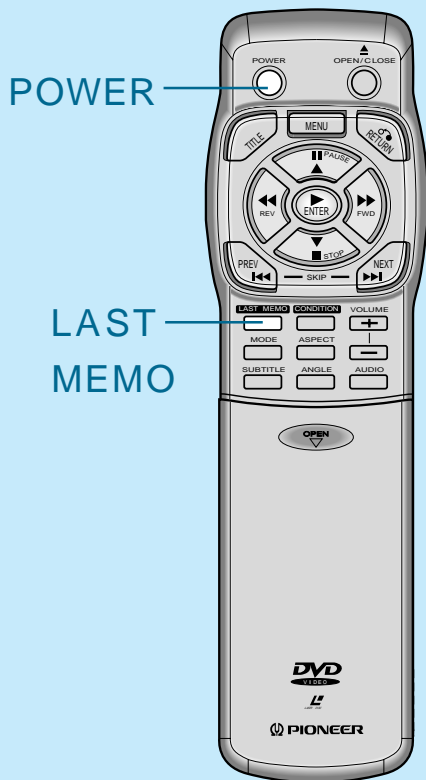
ご注意

●これらの操作は、タイトル間をまたいで行うことはできません。

基本操作
応用操作
いろいろな設定
画面でいろいろな操作
準備
その他

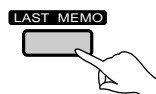
で   を

つづきから見る

少し手前の画像　停止場面の画像

機能の説明

DVD では
つづきで見たい場所をディスクごとに記憶することができます。
ディスクを取り出しても記憶は消えません。
次にそのディスクを記憶した場所から再生することができます。
最大 5 枚のディスクを記憶することができます。

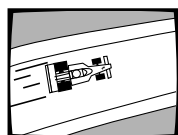
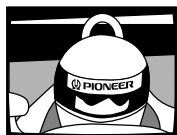
LD では
つづきで見たい場所を記憶します。
ディスクを取り出すと記憶は消えます、ディスクは入れたままにしてください。
ディスクテーブルに入っているディスクだけ（1 枚）記憶した場所から再生することができます。

記憶させるとき

再生中に LAST MEMO ボタンを押す

●前面のラストメモリーインジケーターが点灯します。
●**POWER ボタン**で電源を切るか **STOP■ボタン**で再生を停止します。

つづきから見るとき

停止中またはタイトルメニューを表示中に LAST MEMO ボタンを押す

●電源が入っていないときに、このボタンを押すと、電源が自動的に入り、同様の操作をすることができます。

おや？

●DVD および LD 再生だけの機能です。**CD、ビデオ CD などでは、続き再生はできません。**
●DVD ではラストメモリーは記憶した場所だけでなく、映像・音声・表示・モードなどの各種設定も記憶します。
●ラストメモリーしたディスクでも、**PLAY/PAUSE▶/II ボタン**で再生すると、ディスクの始めから再生します。
●続き再生したディスクはラストメモリーが自動的に消去されます。
●DVD ではラストメモリー登録ディスクの枚数が 5 枚を超えたときは古い記憶（一番最初にメモリーしたもの）から消去、上書きされます。
●時間表示、チャプター表示の無い DVD のタイトルでは機能しません。

ご注意

電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、記憶できません。電源コードを抜くときは、必ず前面の**電源スイッチ**、リモコンの**電源ボタン**を押して電源を切ってから行ってください。

静止画／コマ送りにする

GRAND PRIX ← 静止画 →

押すごとに 1 コマづつ戻ります。(LDのみ)

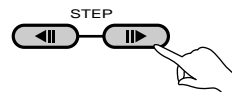
静止画

押すごとに 1 コマづつ進みます。

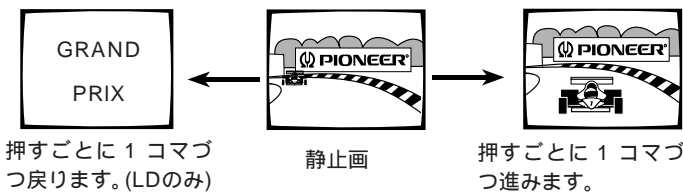
■静止画再生−画像を止めてみる

PAUSE II ボタンを押す

●前面では **PLAY/PAUSE▶/II ボタン**を押します。
● DVD、LD では、**STEP ボタン ◀II II▶** でも静止画になります。
●シネマモード、アニメモードでは静止画ではなく、専用の画面（INTERMISSION や Break と表示）になります。

■コマ送り再生−画像を 1 コマずつ見る

静止画の状態からコマ送りボタン II▶、◀II を押す

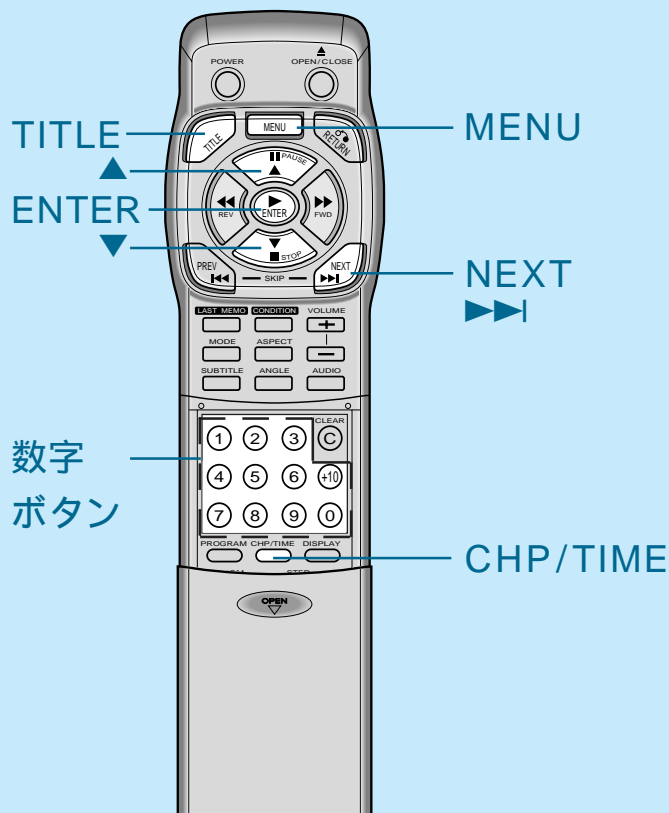
◀II：押すごとに 1 コマづつ戻ります。(LD のみ)
II▶：押すごとに 1 コマづつ進みます。

● II▶ を押しつづけるとスロー再生ができます。
●スロー再生中 ◀II、II▶ を押すとスロー再生の早さが変わります。
●ビデオ CD ではコマ送り、スロー再生はできません。

おや？

●静止画、コマ送り中の音声は聞こえません。
● GUI インジケーターが点灯しているときは、リモコンでは **ENTER▶ ボタン**を 2 秒程度押し続けないと普通の再生に戻りません。
●ディスクによっては、一時停止できないディスクもあります。その場合は、⃠ マークが画面に表示します。

普通の再生に戻すには

PLAY/PAUSE▶/II ボタン（リモコンの場合は **ENTER▶**）を押します。

見たい場面／聞きたい場所を探す（サーチ）

■タイトル番号で直接探す（DVD のみ）

停止中と再生中では、操作のしかたが異なります。

停止中

その 1

NEXT ボタンを押す

●押すごとにタイトル番号が増えますので、希望の番号まで押してください。再生が始まります。

その 2

数字ボタンで直接タイトル番号を選ぶ

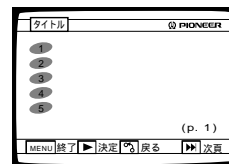
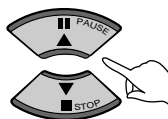
例 ① タイトルの 3 を選ぶとき

例 ② タイトルの 10 を選ぶとき →

その 3

1

TITLE ボタンを押す

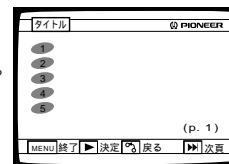
●タイトルのメニューが表示されます。

2

▲▼ ボタンでタイトル番号を選択する

●選んだ番号が青く表示されます。

3

ENTER ▶ ボタンを押す

●指定したタイトルを再生します。

DVD

タイトル 1		タイトル 2	
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1	チャプター 2

ご注意

●タイトルを連続して再生できません。（たとえば、右図（その 3）でタイトル 1〜5 を連続して再生はできません。）
●複数のタイトルを連続して再生するには、タイトルをプログラムして、プログラム再生（21、22 ページ参照）してください。
●DVD では、ディスクによってはサーチ機能を禁止しているものがあります。そのような場合は機能しません。

再生中

その 1

1

TITLE ボタンを押す

タイトル　1

●タイトル番号が画面に点滅表示されます。

2

数字ボタンで直接タイトル番号を選ぶ

例 ① タイトルの 3 を選ぶとき

タイトル　3

例 ② タイトルの 10 を選ぶとき

 →

タイトル　10

その 2

1

TITLE ボタンを押す

タイトル　1

●タイトル番号が画面に点滅表示されます。

2

さらに TITLE ボタンを押す

●希望のタイトル番号になるまで押してください。

タイトル　2

3

ENTER ► ボタンを押す

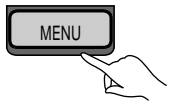
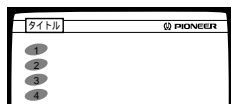
●指定したタイトルを再生します。

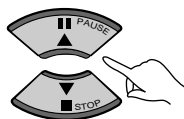
その 3

1

TITLE ボタンを押す

2

MENU ボタンを押す

●タイトルのメニューが表示されます。

3

▲▼ボタンでタイトル番号を選択する

●選んだ番号が青く表示されます。

4

ENTER ► ボタンを押す

●指定したタイトルを再生します。

■チャプター／トラック番号で直接探す（ダイレクトサーチ）

DVD では、初めにタイトルを再生し、その後、お好みのチャプターを選んでください。

再生中

DVD、LD のチャプター番号、CD、ビデオ CD のトラック番号を選びます

例 ① チャプター／トラックの 3 を選ぶとき

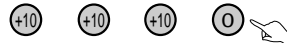
チャプター
タイトル
サーチ
チャプター　1-3

例 ② チャプター／トラックの 17 を選ぶとき

 →

サーチ
チャプター　1-17

例 ③ チャプター／トラックの 30 を選ぶとき

+10 → +10 → +10 → 0

サーチ
チャプター　1-30

●DVD では、再生中のタイトル内のチャプターを選択します。他のタイトルのチャプターは選択できません。

■ チャプター番号で探す（ノーマルサーチ）

DVD 再生中、LD 再生中または停止中

その1

例 ① 17 のとき：

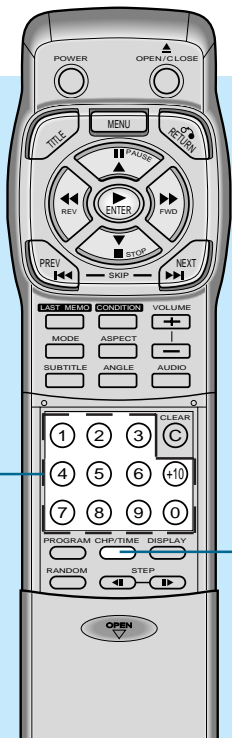
 → → →

例 ② 30 のとき：

 → → 0 →

サーチ
チャプター　1-30

●DVDでは、タイトル間をまたがってチャプターの選択はできません。同一タイトル内のみです。

次頁につづく

■画面の表示で探す
（フレームサーチ）（LD（CAV）のみ）

1 再生中に CHP/TIME ボタンを２回押す

チャプター　0　→　フレーム　0

2 数字ボタンを押して、フレームナンバーを指定する

例：フレームナンバー 2143 の時

② → ① → ④ → ③

フレーム　2143

3 ENTER ► ボタンを押す

●指定したフレームナンバーの画面から再生します。

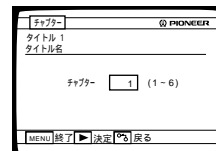
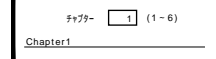
●CD やビデオ CD ではタイムサーチできません。
●時間表示、チャプター表示の無い DVD のタイトルではタイムサーチは機能しません。

DVD 再生中

その２

1 CHP/TIME ボタンを押す

2 MENU ボタンを押す

●チャプターのメニューが表示されます。

3 数字ボタンで直接チャプター番号を選ぶ

4 ENTER ► ボタンを押す

●指定したチャプターを再生します。

■時間で探す（タイムサーチ）
（DVD,LD（CLV）のみ）

1 再生中に CHP/TIME ボタンを２回押し、タイム表示にする

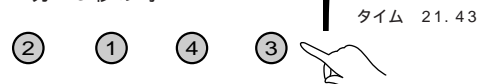
チャプター　0　→　タイム　0

●チャプターのない LD の場合は、１回押すとタイム表示になります。

2 数字ボタンを押して、タイムナンバーを指定する

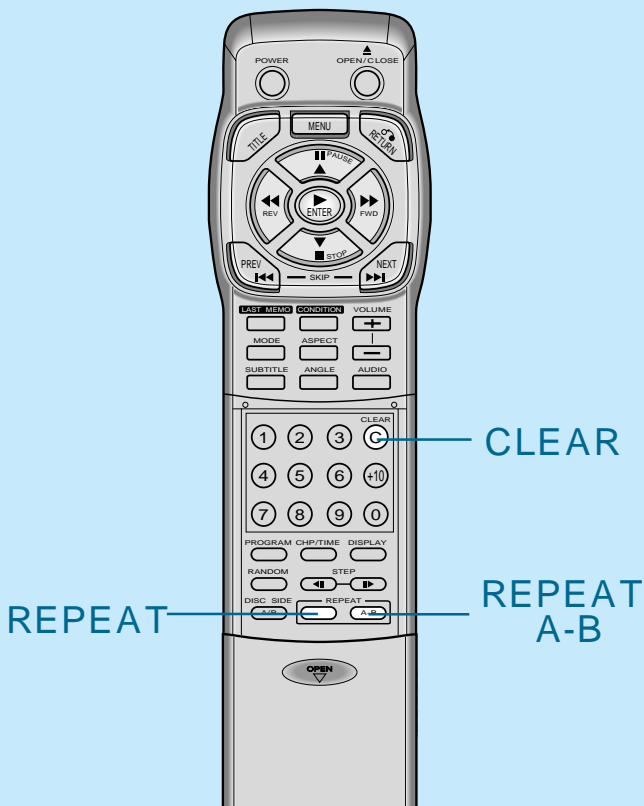
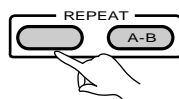
例：21 分 43 秒の時

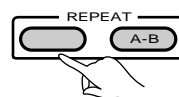
② → ① → ④ → ③

タイム　21. 43

●タイトル間をまたがって、時間の選択はできません。同一タイトル内のみです。

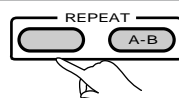
3 ENTER ► ボタンを押す

●指定したタイムナンバーの画面から再生します。

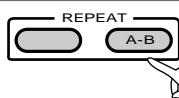
繰り返して見る・聞く（リピート再生）

■トラック／チャプターをリピート再生する

繰り返したい曲やチャプターの再生中にREPEATボタンを１回押す

■１つのタイトルをリピート再生する

REPEATボタンを２回押す

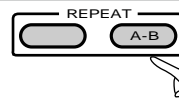
- ●DVDではタイトルの終わりまで再生するとタイトルの始めに戻り、繰り返し再生します。
- ●CD、ビデオCDでは、ディスク１枚が１つのタイトルなので、全てを繰り返し再生します。
- ●LDの場合は片面を繰り返し再生します。

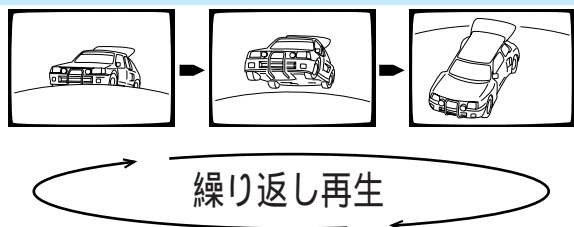
■LDの両面をリピート再生する

REPEATボタンを３回押す

- ●A面からB面、B面からA面へと繰り返し再生します。

■指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい始めと終りでREPEAT A-Bボタンを押す

- ●ビデオCDではできません。

■指定した場所に戻る

希望の場所でREPEAT A-Bボタンを押す。戻りたいところでENTER▶ボタンを押す。

- ●ビデオCDではできません。
- ●前面の GUI インジケーターが点灯しているときは、**ENTER▶ボタン**を２秒程度押し続けてください。
- ●指定した場所を取消すには、**CLEARボタン**を押します。

便利な機能

プログラムのリピート再生ができます。
プログラム再生中に**REPEATボタン**を１回押します。
（プログラムリピート）
●プログラムについては21ページをご覧ください。

なるほど

DVDでは同一タイトル内での繰り返し再生となります。

ご注意

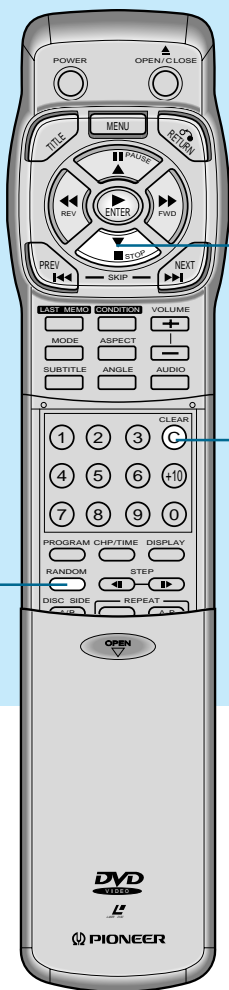
- ●時間表示、チャプター表示の無いDVDのタイトルでは機能しません。
- ●ビデオCDでは、メニューを表示して再生をしたとき（PBC再生）は、リピート再生できません。リピート再生するには、メニューを出さずに再生（10ページ参照）してから**REPEATボタン**または**REPEAT A-Bボタン**を押してください。

リピート再生を止めるには

CLEARボタンを押します。リピートモードは解除されます。再生はそのまま続きます。

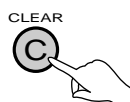
基本操作 / 応用操作 / いろいろな設定 / 画面でいろいろな操作 / 準備 / その他

順不同で再生する（ランダム再生）

ディスク片面の中の全てのチャプター（曲）を本機が順不同に並べ変えて再生します。ディスク片面の中の全チャプター（曲）の再生が終わると停止します。
ただし、DVD ではランダム再生しません。

■ランダム再生をする

RANDOM ボタンを押す

●表示窓に R D M と表示します。
●LD では、一度 **PLAY/PAUSE ボタン ▶/II** を押して再生を始めた後に、**RAMDOM ボタン**を押してください。

■ランダム再生を止める

CLEAR ボタンを押す

ランダム再生中に：

●**NEXT▶▶I ボタン**を押すと、次にプレーヤーが選ぶ曲が再生されます。
●**PREVI◀◀ ボタン**を押すと、現在再生中の曲を始めから再生し直します。
●ランダム再生をやめるときは **CLEAR ボタン**を押します。通常再生に戻り、現在再生されている曲のあとを順番に再生していきます。
●ランダム再生中に **RANDOMボタン**を押すと、その時の再生順序は解除され、新たな再生順序でランダム再生を再開します。

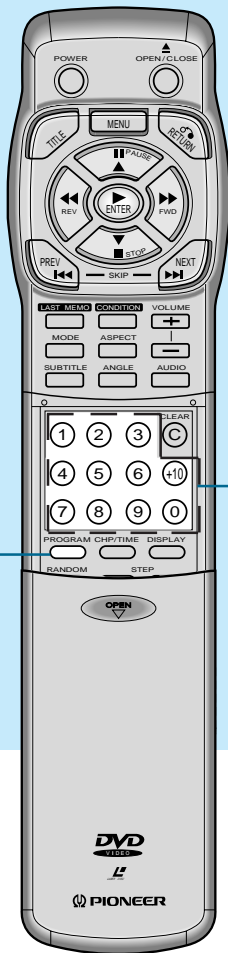
LD で裏面（B 面）のランダム再生のしかた：

●**ディスクサイド B ボタン**を押して、その後 **RANDOM ボタン**を押してください。

なるほど

●TOC の入っていない LD ではランダム再生できません。
●ビデオＣＤでは、メニューを表示して再生したとき（ＰＢＣ再生）は、ランダム再生できません。ランダム再生をするには、メニューを出さずに再生（10 ページ参照）してから **RANDOM ボタン**を押してください。
●プログラムした内容をランダムに再生することはできません。

希望の順番に並び換えて再生する（プログラム再生）

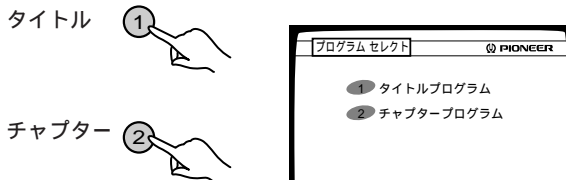
● **DVDとビデオCD・CDでは、プログラムする内容が異なります。**

なるほど

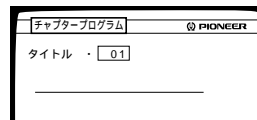
●プログラムは最大24ステップです。
●設定したプログラムの再生が終わると停止状態になります。
●数字ボタンを押し間違えたときは、**CLEARボタン**を押してから正しい数字ボタンを押してください。
●チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生はできません。

プログラムの設定（DVD）

DVDでは、①**タイトル**ごとのプログラム、②**チャプター**のプログラムの2通りの設定ができます。

1 **PROGRAMボタンを押す**

2 **プログラム種類を選択**

3 **チャプターを選んだときは、プログラムするチャプターがあるタイトルを数字ボタンで選択**

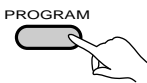
●タイトルを選んだときは、手順4へ進みます。

4 **DVDのタイトルまたはチャプターを9→7→18の順に設定する場合**

5 **ENTER ►ボタンを押す**

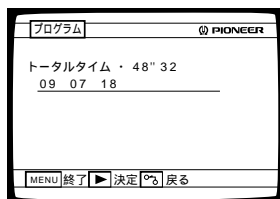
●設定した順に再生します。

プログラムの設定（ビデオ CD・CD・LD）

例：9 曲目→ 7 曲目→ 18 曲目の順に設定する場合

1

PROGRAM ボタンを押す

2 **数字ボタンを 9、7、＋10、8 の順に押す**

ビデオＣＤ、ＣＤ

●両面再生 LD では、ディスク面＋曲目が１組となります。例えば、Ｂ面のチャプター９では、

 → と押します。

3

ENTER ▶ ボタンを押す

●設定した順に再生します。

おや？

●ビデオ CD をメニューを使って再生（PBC 時）しているときは、プログラムできません。
●チャプターの移り変わりのときに、一瞬プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。
●再生中にリモコンの **OPEN/CLOSE⏏ボタン**を押すと、再生を停止します。（停止ボタンとして働く）

なるほど

一時停止（ポーズ）をプログラムする：
数字のかわりに **PAUSE ⏸ボタン**を押すと画面では⏸と表示し、ポーズがプログラムできます。

プログラムを追加する：
プログラム再生中、**PROGRAM ボタン**を押すと、プログラム入力画面になり、プログラムを追加することができます。追加後、**PROGRAM ボタン**を押すと、再生していたところから続けてプログラム再生します。

■プログラム再生を止めるには

STOP ■ボタンを 2 回押す

●ＤＶＤの場合、リモコンの **STOP■ボタン**は**方向ボタン（▼）**と併用しているので誤って停止をしないようにするため、**STOP■ボタン**を押すと、画面に"ストップ?"の表示が出ます。数秒後に"ストップ?"の表示は消えますが、表示中にもう一度 **STOP■ボタン**を押すと停止します。前面の **STOP■ボタン**や **OPEN/CLOSE⏏ ボタン**は２回押す必要はありません。
●プログラム再生を終了します。

■プログラムをすべて消すには

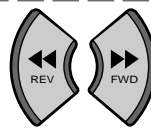
停止状態で CLEAR ボタンを押す

●ディスクテーブルを開いてもプログラムはすべて消えます。

■1 曲づつ削除するには

1 PROGRAM

PROGRAM ボタンを押す

2

◀◀ ▶▶ ボタンで消したい曲を選ぶ

3

CLEAR ボタンを押す

●押すたびに後のプログラムから順に削除します。

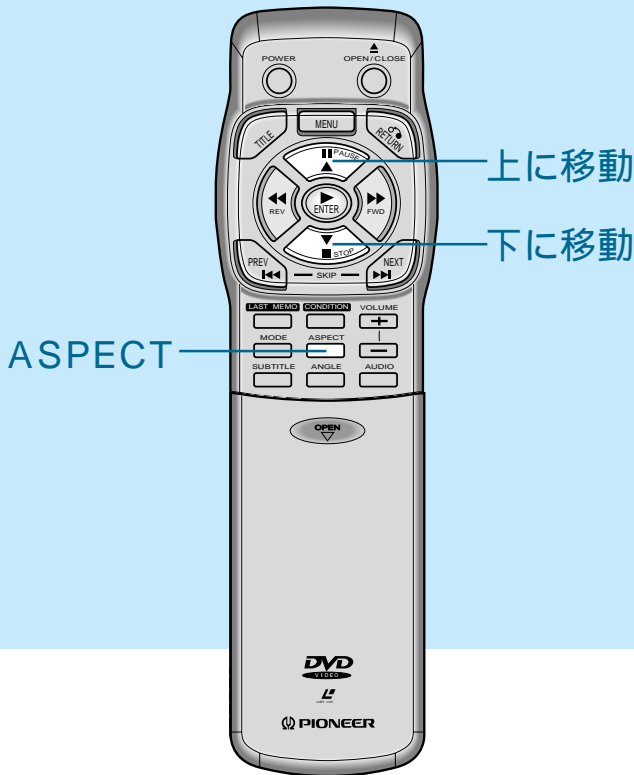
プログラムを確認するには

プログラム再生中やプログラム再生が終わったあとに **PROGRAMボタン**を押すと、プログラムした内容が画面に表示されます。もう一度 **PROGRAMボタン**を押すと、プログラム内容表示が消えます。

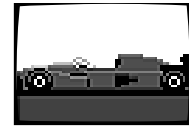
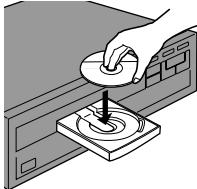
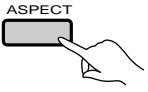
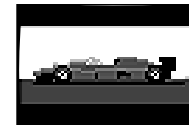
いろいろな設定

画面でいろいろな操作

ワイドテレビ用ソフトの設定

DVDではワイドテレビに対応して、スクイーズ（圧縮映像）のものがあります。通常のテレビで、このようなDVDを再生すると画面がタテ長になることがあります。このようなとき、アスペクト機能を使うと通常の映像にすることができます。

ワイドテレビ用に収録された映像を通常のテレビで見ると次のようになります。

4：3モードでは、上下の高さに合わせて映し出します。

●映像の左右が欠けます。

レターボックスモードでは、左右の長さに合わせて映し出します。

●上下の余った部分が帯状になります。

設定のしかた

1 ワイドテレビ用に収録された映像が入ったソフトをディスクテーブルに入れる

2 ENTER ► ボタンを押す

●再生が始まります。

3 ASPECTボタンを押す

● ディスクによっては2種類しかないものがあります。

4 ▲▼ボタンを押し、お好みのモード（4：3、レターボックス、ワイド）を選択する

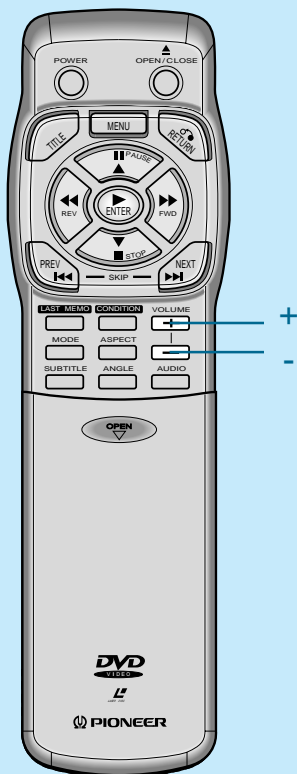
●画面が切り換わります。
●**ASPECTボタン**を押すごとに切り換えることもできます。
●数秒後にアスペクト選択画面が消え、再生状態に戻ります。また、**ENTER► ボタン**を押すとすぐに再生状態に戻ります。

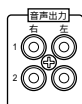
なるほど

●通常のテレビは横4：縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16：縦9の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。
●アスペクト情報の入っていないディスクでは切り換えられません。このようなディスクで**ASPECTボタン**を押すと、⃠マークが画面の左下に表示されます。
●4：3モードやレターボックスモードで記録されたDVDでは切り換えできません。

ご注意

電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず前面の**電源スイッチ**、リモコンの**電源ボタン**を押して電源を切ってから行ってください。

音量を調節する

なるほど

●

音声出力端子１または２に出力される音声のみ調節できます。
ディスクごとにあるいはLDのデジタル音声とアナログ音声では記録レベルが異なることがあります。この場合、アンプやテレビで音量を調整してください。

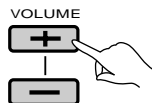
●本機能は他の機器と音量レベルを合わせるためのサブボリュームとお考えください。
したがって、ビデオ、チューナーなど他の機器との音量レベルを合わせたら、通常はテレビやオーディオアンプのボリュームで音量調節をすると使いやすくなります。

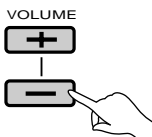
ご注意

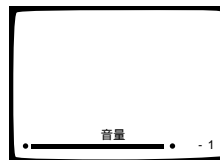
●本機能による設定は電源を切っても記憶していますが、電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず前面の**電源スイッチ**、リモコンの**電源ボタン**を押して電源を切ってから行ってください。

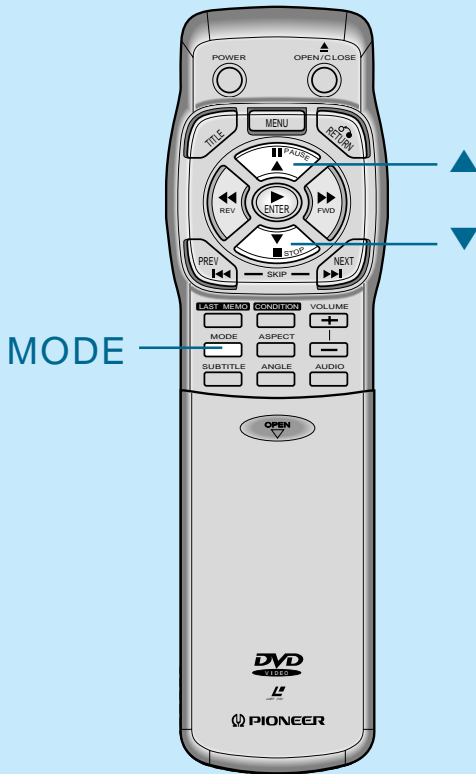
●LD 再生時は、音量画面は白黒です。

音量調節

リモコンで音量の調節ができます。

VOLUME（+）ボタンを押す

●音量が大きくなります。

VOLUME（–）ボタンを押す

●音量が小さくなります。

画質や表示を切り換える

映画、アニメ等の映像をお好みの映像に切り換えられます。さらに、LD では停止状態から再生を始める時間、両面再生 LD の A 面⇔ B 面を切り換える時間が短くなります。

設定のしかた

MODE ボタンを押す

押すごとに次のように切り換わります

●▲▼ボタンを押しても切り換わります。

シネマ 1 → シネマ 2 → アニメーション → スタンダード

シネマ 1

画質：変化しません
機能：表示窓を消灯

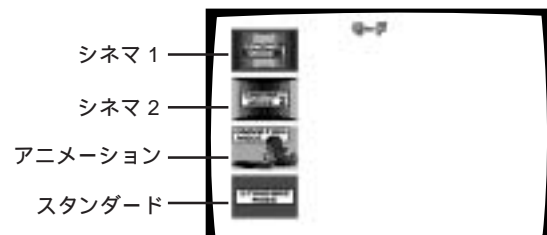
シネマ 2

画質：黒をクッキリとさせたメリハリのある映像にします。
機能：表示窓を消灯

アニメーション

画質：色をハッキリさせた美しい映像がお楽しみいただけます。

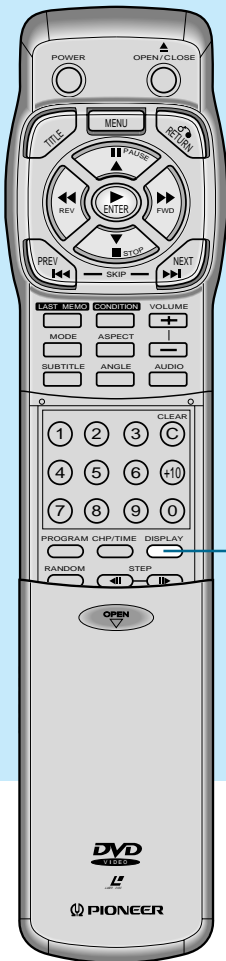
スタンダード

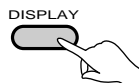
画質、機能ともに通常に戻ります。

なるほど

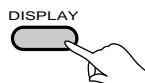
●スタンダードモードでは一時停止にすると静止画になりますが、シネマ（1、2）、アニメーションでは、それぞれ専用の一時停止画面になります。
●LD および CD ビデオのビデオパートではアニメモードはありません。
●CD ビデオのビデオパートでも LD と同じ設定ができます。

ご注意

●シネマ 1、シネマ 2 では LD の TOC（Table of Contents : 本の目次に相当する情報）を読み込みません。これにより、停止状態から再生までの時間や A 面⇔ B 面へ切り換わる時間が短くなります。しかし TOC が入ったLDでもランダム再生やトータル時間表示、リメイン時間表示、標準（CAV）ディスクでの経過時間表示ができなくなります。
●ソフトの内容や組み合わせるテレビによっては見づらくなる場合があります。その場合はスタンダードにしてください。
●LD 再生時はモード選択画面は白黒です。

でを

情報を見る

■情報を見る

再生中にDISPLAYボタンを押す

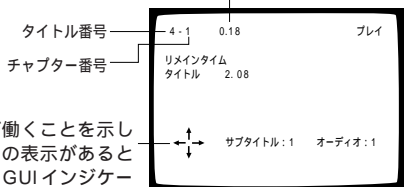
- DVD：押すごとにタイトルナンバー、チャプターナンバー、再生時間等が表示されます。
- LD：押すごとにチャプターナンバー、再生時間等が表示されます。
- ビデオCD（PBC再生時を除く）・CD：押すごとにトラックナンバーと記録時間が表示されます。
- ディスクメニューなどの場所やタイトルによっては表示しません。

停止中にDISPLAYボタンを押す

- ディスク情報が表示されます。
- LDでTOCの入っていないディスクでは表示しません。

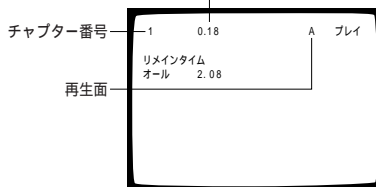
[再生中]

DVD

タイトル内再生時間
タイトル番号
チャプター番号

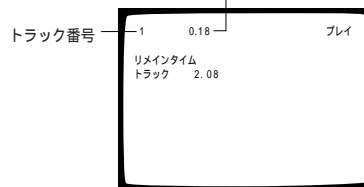
4－1　0.18　プレイ
リメインタイム
タイトル　2.08
サブタイトル：1　オーディオ：1

方向ボタンが働くことを示しています。この表示があるときは、前面のGUIインジケーターが点灯しています。

リメインタイムタイトル：再生中のタイトルの残り時間
トータルタイム：再生中のタイトルの総再生時間

LD

ディスクタイム：ディスクの始めからの経過時間
リメインタイムオール：再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：ディスクの総再生時間

CD、ビデオCD

トラック内再生時間
トラック番号

1　0.18　プレイ
リメインタイム
トラック　2.08

リメインタイムトラック：再生中の曲の残り時間
リメインタイムオール（CDのみ）：再生中のところからディスクの最後までの残り時間
トータルタイム：ディスクの総再生時間

[停止中]

DVD

PIONEER

タイトル	チャプター	タイトル	チャプター
01	1~1	06	1~7
02	1~2		
03	1~3		
04	1~1		
05	1~4		

DISPLAY 終了

LD

PIONEER

トータルタイム ・ 17"50
チャプター ・ 1~5

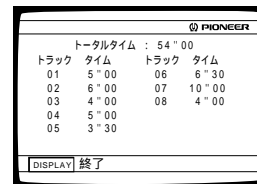
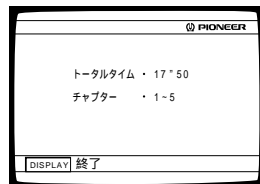
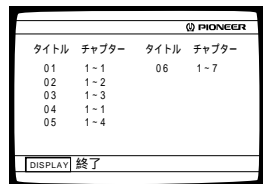
DISPLAY 終了

CD、ビデオCD

PIONEER

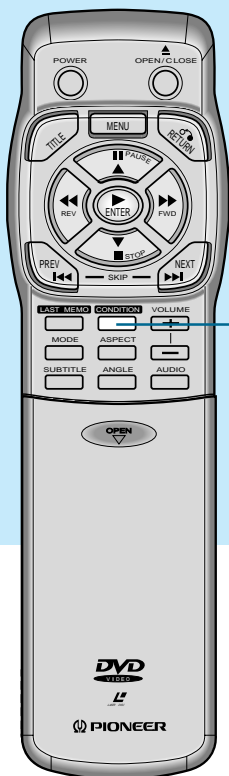
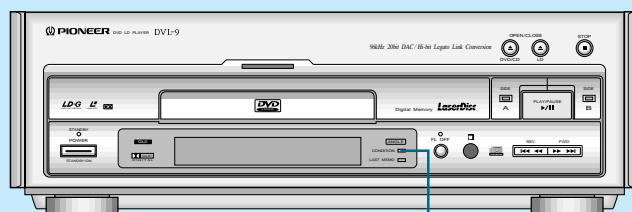
トータルタイム ： 54"00

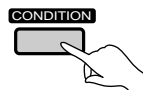
トラック	タイム	トラック	タイム
01	5"00	06	6"30
02	6"00	07	10"00
03	4"00	08	4"00
04	5"00		
05	3"30		

DISPLAY 終了

よく見るDVDの各種設定を記憶させる

よく見るDVDの設定内容を記憶させることができます。

設定は、ディスクを出したり、電源を切っても記憶されています。記憶したディスクを入れると、コンディションインジケーターが点灯します。このとき、再生をすると前回の内容が自動的に呼び出されます。

記憶できる設定内容はマルチアスペクト（24ページ）、シネマモード / アニメモード（26ページ）、マルチ言語字幕（32ページ）、マルチ音声（33ページ）、表示位置（39ページ）の5つです。

CONDITION

コンディションインジケーター

記憶のしかた

再生中に CONDITION ボタンを押す

●前面のコンディションインジケーターが点灯します。

なるほど

●一度設定した内容は、何度再生しても保持されます。
●記録できる枚数は最大で30枚分です。それを超えると、古く記録したものから消されて、新しく記録した内容になります。古く記録されたものでも、呼び出されると最新の記録となります。
●設定を変更したい場合は、アスペクト、シネマモード / アニメモード、字幕言語、音声のいずれかを設定しなおし、再生して **CONDITION ボタン**を押します。

ご注意

電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず前面の**電源スイッチ**、リモコンの**電源ボタン**を押して電源を切ってから行ってください。

グラフィックス表示の位置を変える

ディスクの記録フォーマットには、映像や音声を記録する場所以外にサブコードと言う記録場所があります。ここに、映画の台詞や歌の歌詞などの信号を記録しておき、その信号を読み取って画面に映し出すのがグラフィックスです。
LD グラフィックスディスクには LD·G マークが付いています。グラフィックスはこれらのディスクを使用したときにお楽しみいただけます。

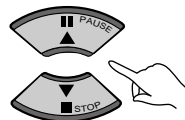
1 MENU ボタンを押す

セットアップ		PIONEER
1 表示位置	・	ノーマル
2 表示言語	・	日本語
3 クリック音	・	オン
4 スクリーンセーバー	・	オン

●セットアップメニュー画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで グラフィックスを選択

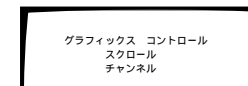
5 背景色	・	□
6 グラフィックス	・	オフ
7 V-DNR	・	オフ
8 セットアップ決定		

●"⑥グラフィックス"の番号が青く表示されます。

3 ◄ ► ボタンでオン、モード 1 かモード 2 を選択

6 グラフィックス	・	モード1
7 V-DNR	・	オフ
8 セットアップ決定		

●モード 1 はグラフィックスチャンネルが 0 と 1 になります。
●モード 2 はグラフィックスチャンネルが 2 になります。

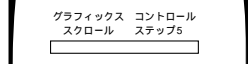
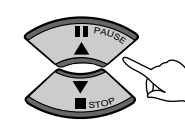
4 ENTER ► ボタンを押す

グラフィックス　コントロール
スクロール
チャンネル

●グラフィックスコントロール画面になり、スクロール点滅表示します。

5 ENTER ► ボタンを押す

●スクロール選択画面になり、表示の位置が変えられます。

6 ▲▼ボタンを押す

グラフィックス　コントロール
スクロール　ステップ5

●グラフィックス表示が、希望の位置になるまで数回押します。
●表示はノーマルから 17 まで、18 段階の位置表示ができます。

7 ENTER ► ボタンを押す

●ご希望のグラフィックス表示位置の映像で再生されます。

グラフィックスの位置を初めの位置に戻すには：

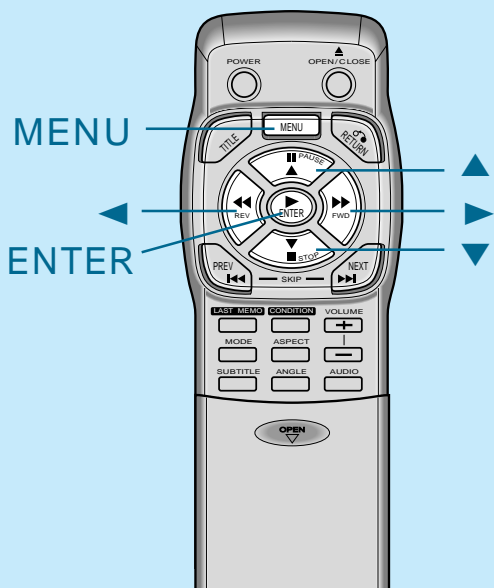
●手順 4 の操作後、**CLEAR ボタン**を押します。次ページのグラフィックスチャンネルも合わせて初めの状態に戻ります。そして、**ENTER ► ボタン**を押して再生します。
●手順 5 の操作後、**CLEAR ボタン**を押します。表示位置のみ初めの位置に戻ります。そして、**ENTER ► ボタン**を押して再生します。

なるほど

●セットアップメニュー画面では、項目の番号を**数字ボタン**を押しても選択できます。この場合、**ENTER ► ボタン**を押さなくてもその番号が決定されます。
●1 つ前の画面に戻るには、リモコンの **RETURN ボタン**を押します。
●メニュー画面を終了するには、リモコンの **MENU ボタン**を押します。

で LD CD を

グラフィックスチャンネルを変える

LD/CDグラフィックスには0～15まで最大16のグラフィックスチャンネルがあります。このグラフィックスチャンネルをオン/オフすることにより、画面に映る情報を選ぶことができます。

1 MENU ボタンを押す

セットアップ		PIONEER
1 表示位置	・	ノーマル
2 表示言語	・	日本語
3 クリック音	・	オン
4 スクリーンセーバー	・	オン

●メニュー画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンでグラフィックスを選択

●“⑥グラフィックス”の番号が青く表示されます。

3 ◄► ボタンでオン、モード1かモード2を選択

6 グラフィックス	・	モード1
7 V-DNR	・	オフ
8 セットアップ決定		

4 ENTER ► ボタンを押す

グラフィックス　コントロール
スクロール
チャンネル

●グラフィックスコントロール画面になります。

5 ▼ボタンでチャンネルを選ぶ

グラフィックス　コントロール
スクロール
チャンネル

●チャンネルが点滅表示されます。

6 ENTER ► ボタンを押す

グラフィックス　コントロール
チャンネル

00	01	02	03
04	05	06	07
08	09	10	11
12	13	14	15

●チャンネル表示になります。

7 数字ボタンで希望のチャンネル番号を押す

●選択したチャンネルの番号が反転表示します。
●もう一度同じ同じャンネル番号を押すとオフになります。

8 ENTER ► ボタンを押す

●ご希望のグラフィックスチャンネルの映像で再生されます。

グラフィックスのチャンネルを初めの状態に戻すには：

●手順4の操作後、**CLEAR ボタン**を押します。前ページのグラフィックス表示位置も合わせて初めの状態に戻ります。そして、**ENTER ► ボタン**を押して再生します。
●手順6の操作後、**CLEAR ボタン**を押します。グラフィックスチャンネルのみ初めの状態に戻ります。そして、**ENTER ► ボタン**を押して再生します。
●本機は、初めの状態でよく利用されるグラフィックスチャンネル（0、1、2）が簡単に選べるようにモード1、モード2に記録してあります。

おや？

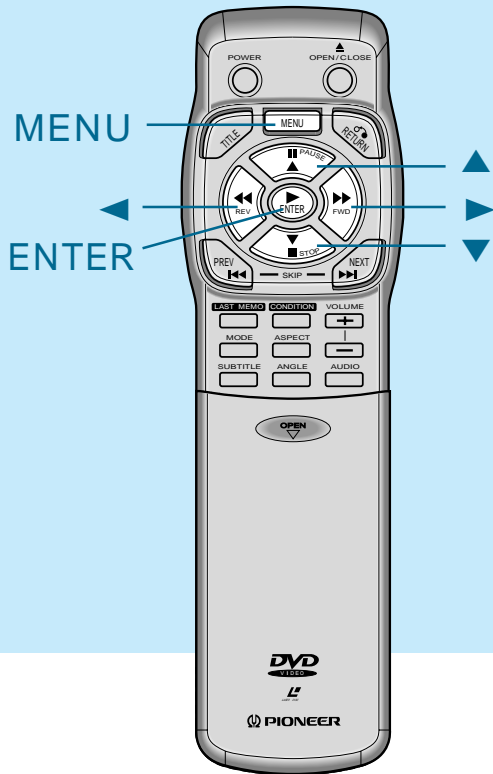
●LD/CDグラフィックスディスクを使用して、**グラフィックスボタン**を押してもグラフィックス映像が出ないときは、グラフィックスチャンネルの設定が合っていないことが考えられます。このような場合、電源を一度切り、再び電源を入れるか、このページの操作説明どおり、グラフィックスチャンネル画面を出して**CLEARボタン**を押してください。

なるほど

●セットアップメニュー画面では、項目の番号を**数字ボタン**を押しても選択できます。この場合、**ENTER ► ボタン**を押さなくてもその番号が決定されます。
●ディスクテーブルを開けたり、電源を切ると、変更したグラフィックスのスクロール及びチャンネルは初期状態に戻ります。これは、異なるディスクを再生したとき、グラフィックスが出ない等が起こらないようにしているためです。
●1つ前の画面に戻るには、リモコンの**RETURN ボタン**を押します。
●メニュー画面を終了するには、リモコンの**MENUボタン**を押します。

画質を調整する（V-DNR）

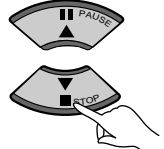
LD や CDV（ビデオパート）の再生時に、ノイズや色ムラを低減させる機能です。

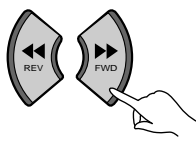
本機の V-DNR（バリアブル・デジタル・ノイズ・リダクション）は輝度（明るさ）と彩度（色）に対する設定レベルを別々に調整することができます。

1 再生中に MENU ボタンを押す

MENU

セットアップ　PIONEER
1 表示位置 ・ ノーマル
2 表示言語 ・ 日本語
3 クリック音 ・ オン
4 スクリーンセーバー ・ オン

●セットアップメニュー画面が表示されます。

2 ▲▼ボタンで V-DNR を選択

●“⑦V-DNR”の番号が青く表示されます。

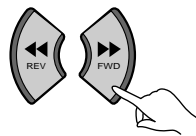
3 ◀、▶ ボタンでバリアブルを選択

4 ENTER ▶ ボタンを押す

V-DNR　バリアブル
Y min ＊ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ max
C min ＊ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ max

●⑦V-DNR 画面になります。

5 ▲▼ボタンで Y（輝度）または C（彩度）を選択する

● Y（輝度）または C（彩度）が点滅表示されます。
● V-DNR を解除したいときは V-DNR オフを選択して **ENTER ▶ ボタン**を押してください。
● V-DNR を初期状態に戻したいときは V-DNR スタンダードを選択して**ENTER ▶ボタン**を押してください。

6 ◀、▶ ボタンを押す

V-DNR　バリアブル
Y min ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ ＊ max
C min ＊ ・ ・ ・ ・ ・ ・ max

●画面を見ながらお好みの画質になるように調整してください。

7 ENTER ▶ ボタンを押す

●調整が終了します。
●調整した設定は電源を切っても消えません。

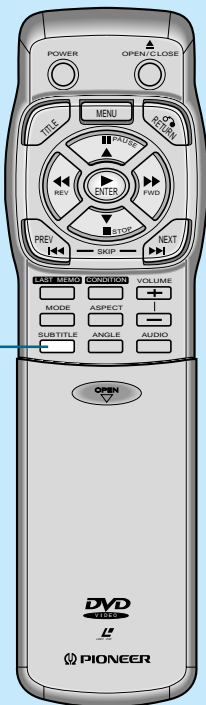
なるほど

●工場出荷時は、V-DNR スタンダード（自動設定）になっています。
●セットアップメニュー画面では、項目の番号を**数字ボタン**を押しても選択できます。この場合、**ENTER ▶ ボタン**を押さなくてもその番号が決定されます。
●1 つ前の画面に戻るには、リモコンの **RETURN ボタン**を押します。
●メニュー画面を終了するには、リモコンの **MENUボタン**を押します。

字幕言語を選ぶ

複数の字幕言語が記録された DVD では、字幕言語を選ぶことができます。

●メニューを使っても選べます。
（34、38 ページ参照）

●**字幕言語を消したい場合：**
再生中は **SUBTITLE ボタン**と **CLEAR ボタン**を同時に押してください。また、サブタイトルメニューを表示しているときは、「オフ」を選択すると消すことができます。

再生中

1 SUBTITLE ボタンを押す

●現在再生中の字幕番号が表示されます。

2 SUBTITLE ボタンを押し、お好みの言語にする

おや？

字幕言語が切り換わらないときは、字幕が記録されていない、または1つしか記録されていないためです。

 で を

見たい方向からの映像を選ぶ

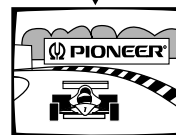
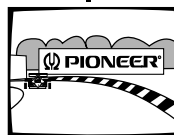
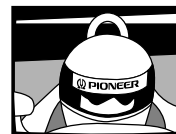
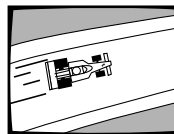
マルチアングル

複数の方向から映された映像が記録された DVD で選ぶことができます。
ここでは、一般的な選び方を紹介します。

●メニューを使っても選べます。
（34、38 ページ参照）

再生中

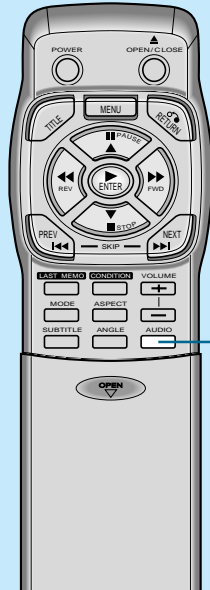
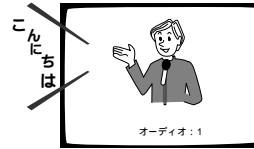
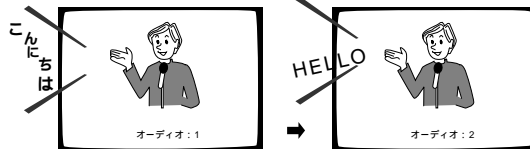
ANGLE ボタンを押す

●さらに押すごとに切り換わります。

なるほど

●マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。
●マルチアングル部分を再生中は前面のアングルインジケーターが点灯します。

音声言語を選ぶ

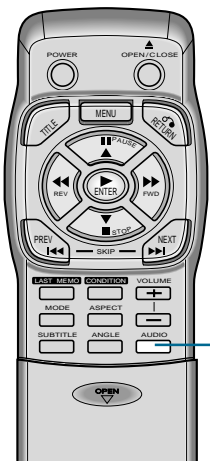
●メニューを使っても選べます。（34、38 ページ参照）
●ＤＶＤには、ドルビーデジタルや PCM などの音声をいろいろな言語で記録されています。お好きな音声言語をお楽しみください。

再生中

おや?

音声言語が切り換わらないときは、音声言語が 1 言語しか記録されていないためです。

 で を

音声を切り換える

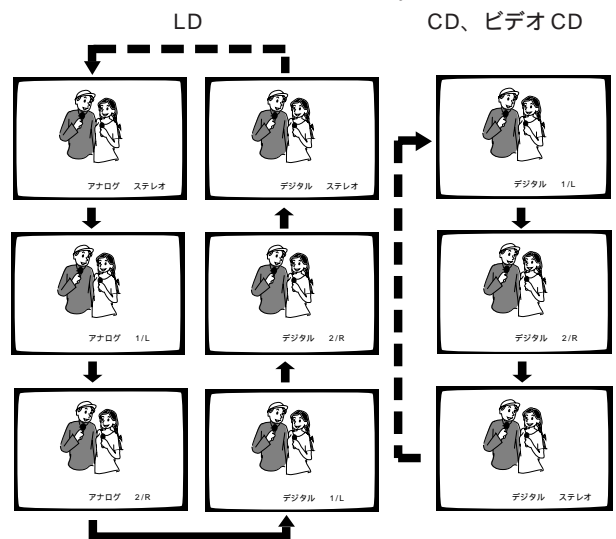
おや?

LD でデジタル音声に切り換わらないときは、ディスクにデジタル音声が記録されていないためです。

なるほど

カラオケソフトなどで、歌と伴奏の音声にするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせてください。

ご注意

デジタル出力音声（光、同軸）では切り換わりません。

再生中

GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）操作の概要

本機ではいろいろな設定を画面を見ながらリモコンでおこないます。
ここではメニュー画面への入り方を説明します。ディスクの種類や再生・停止などの状態によってメニュー画面への入り方が異なりますので、下のメニューマップを参考にしてください。

メニューマップ

セットされているディスク：DVD 状態：再生中

セットされているディスク：DVD 状態：停止中

セットされているディスク：Video-CD・CD

TITLE + MENU

MENU

図1

1 タイトルメニュー
2 メニュー
3 セットアップ

MENU 終了 ▶ 決定 戻る

RETURN 戻る

セットされているディスク：LD

セットアップ	
1 表示位置	ノーマル
2 表示言語	日本語
3 クリック音	オン
4 スクリーンセーバー	オン
5 背景色	
6 セットアップ決定	

図2

タイトル
1 Title1
2 Title2
3 Title3
4 Title4
5 Title5

図3

メニュー
タイトル1
Title1

1 チャプター	1/1
2 音声	DOLBY DIGITAL 2ch
3 字幕	1/1
4 アングル	1/1
5 決定	

図4

セットアップ	
1 表示位置	ノーマル
2 表示言語	日本語
3 クリック音	オン
4 スクリーンセーバー	オン
5 背景色	
6 D.R.COMP	オフ
7 デジタル光出力	AC-3 /PCM
8 セットアップ決定	

MENU 終了 ▶ 決定 戻る ⏭ 次頁

図5

セットアップ	
1 表示位置	ノーマル
2 表示言語	日本語
3 クリック音	オン
4 スクリーンセーバー	オン
5 背景色	
6 グラフィックス	オフ
7 V-DNR	オフ
8 セットアップ決定	

希望の番号を押す

希望のタイトルが再生されます
（詳しくは14ページ参照）

各項目を選択

RETURN 戻る

①②③④⑤

図6

チャプター
タイトル1
Title1
チャプター 1 （1～1）

図7

音 声
タイトル4
Title4
1 英語 DOLBY DIGITAL 5ch
2 フランス語 DOLBY DIGITAL 2ch
3 スペイン語 DOLBY DIGITAL 2ch

図8

字 幕
タイトル4
Title4
0 オフ
1 英語
2 日本語
3 フランス語
4 スペイン語

図9

アングル
タイトル4
Title4
1 2 3
4 5 6
7 8 9

再生されます

CHP/TIME + MENU　CHP/TIME

AUDIO + MENU　AUDIO

SUBTITLE + MENU　SUBTITLE

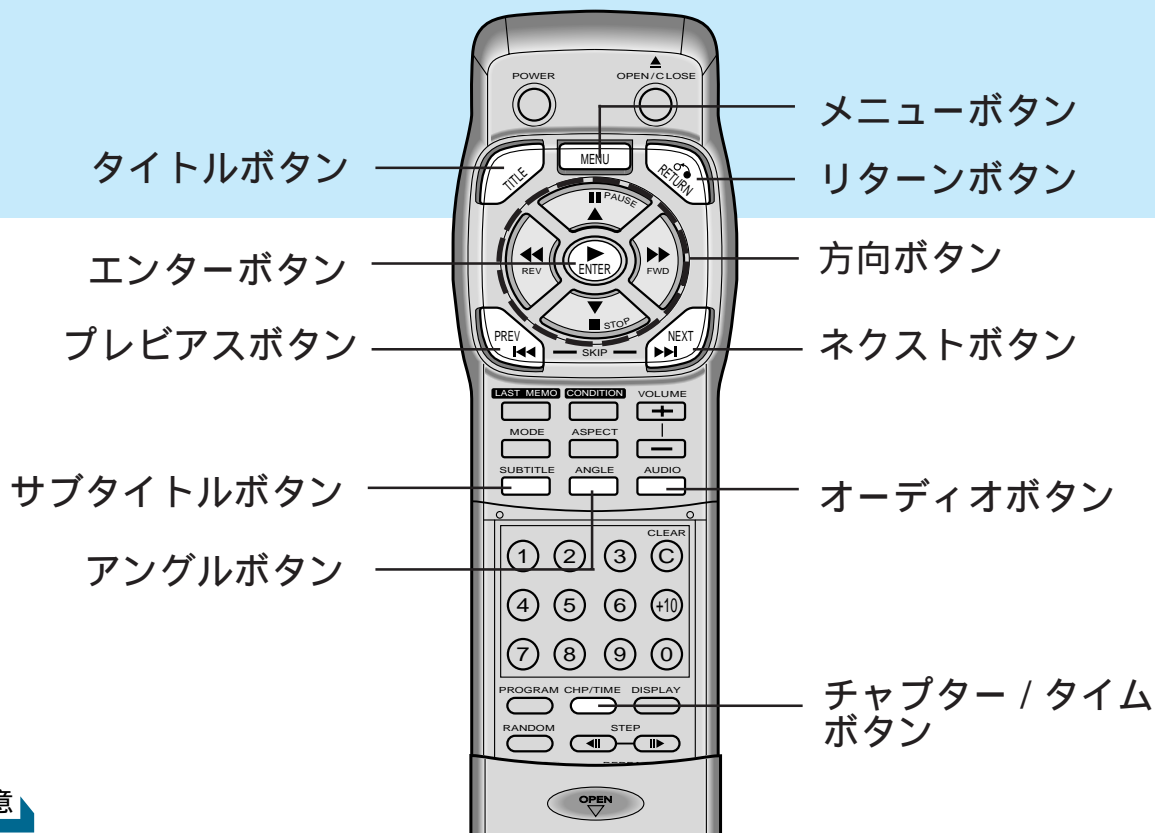
ANGLE + MENU　ANGLE

RETURN 戻る　RETURN 戻る

セットされているディスク：DVD　状態：再生中

セットされているディスク：DVD　状態：停止中

各メニュー内でのボタンのはたらき

ボタンの名称	ボタンのかたち	はたらき
メニューボタン		メニュー画面からぬける（設定した内容は無効になります）
リターンボタン		1つ前のメニュー画面へ戻る（設定した内容は無効になります）
数字ボタン		選択し決定する（セットアップメニュー内では項目によっては選択のみとして働く場合があります。）
方向ボタン		選択
エンターボタン		決定し実行する（タイトル、チャプターの変更後は再生状態になります）
プレビアスボタン		前のページへ
ネクストボタン		次のページへ
直接メニューを出すボタン	CHP/TIME SUBTITLE ANGLE AUDIO	各メニューへ（移動前に設定した内容は無効になります）

ご注意

●直接メニューを出すボタンにより、各メニュー間を切り換えられますが、移動前に設定した内容は無効となります。
●どのメニュー画面からも MENU ボタンでメニュー画面から抜けることができます。画面はメニュー呼び出し前の状態に戻ります。この場合、設定した内容はすべて無効になります。
● RETURN ボタンで前の位置や状態に戻ることができます。この場合、戻る前のメニュー内での設定した内容は無効になります。
●タイトル、チャプター、サブタイトル、オーディオ、アングルの各メニューは再生するディスクによって異なります。
●方向ボタン（◄・►・▲・▼）は、ディスクによるメニューのメニュー操作時（前面の GUI インジケーター点灯時）は 2 秒以上押し続けると、メニュー操作でないときの働き（早戻し、早送り、一時停止、停止）として働きます。ただし、その中で、リモコンの **STOP■ボタン**は**方向ボタン（▼）**と併用しているので、誤って停止をしないようにするため、**STOP■ボタン**を押すと、画面に " ストップ?" の表示が出ます。数秒後に " ストップ?" の表示は消えますが、表示中にもう一度 **STOP■ボタン**を押すと停止します。

基本操作 応用操作 いろいろな設定 画面でいろいろな操作 準備 その他

画面表示と操作の例

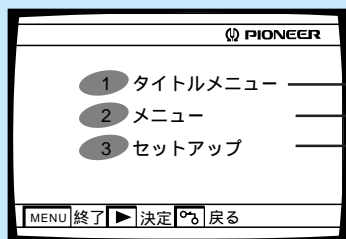
例1：メニュー内での表示内容・ボタンのはたらき

数字ボタンを押し、または ボタンで選択してENTER ▶ ボタンを押すと、各項目名の選択画面になります。ただし、⑤「決定」は変更した内容に決定して終了します。

例2：セットアップメニュー内での表示内容・ボタンのはたらき

数字ボタンでも選択できます。「背景色」、「パレンタルレベル」、「ソフトメニュー言語」を選択すると、各選択画面になります。
または設定内容を変更してENTER ▶ ボタンを押すと設定した内容になり終了します。

メインメニューについて　図 1

タイトルメニュー画面、メニュー画面、セットアップ画面を選ぶときの主（メイン）画面です。

PIONEER
1 タイトルメニュー ―― タイトルメニュー画面へ行く
2 メニュー ―― メニュー画面へ行く
3 セットアップ ―― セットアップ画面へ行く
MENU 終了 ▶ 決定 戻る

タイトルメニュー画面では：
タイトルを選んで再生することができます。（タイトルサーチ）

メニュー画面では：
タイトル中のチャプター（曲）、字幕、音声、アングルを選ぶことができます。

セットアップ画面では：
本機の各種機能を画面表示で設定することができます。

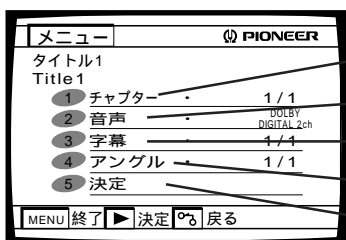
タイトルメニューについて　図 2

タイトルメニュー

タイトルを選んで再生できます。
16ページの「タイトル番号で直接探す」と同じ選択画面です。

メニュー画面の内容　図 3

タイトル中のチャプター、字幕の内容、音声、アングルを選ぶ画面です。

メニュー画面

チャプター画面では：
1つのタイトル中のチャプター（曲）を選んで再生することができます。

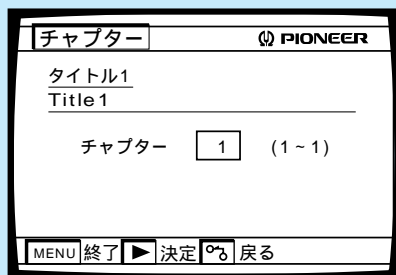
音声画面では：
複数の音声言語や音声の種類の入ったディスクでは、音声の内容を選ぶことができます。

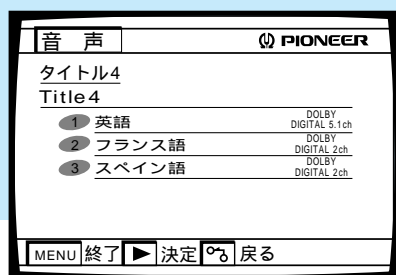
字幕画面では：
字幕情報の入ったディスクでは、字幕の内容を選ぶことができます。

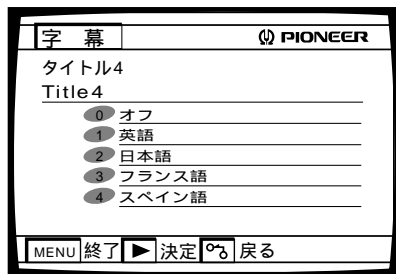
アングル画面では：
さまざまな方向から映された映像が記録されたディスクでは、その中からお好みのものを選ぶことができます。

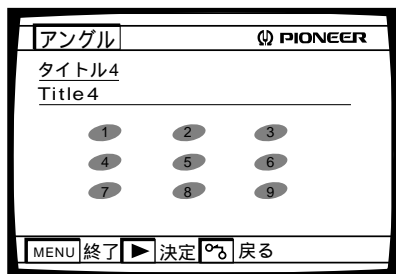
4つのメニューについて

これらのメニューは停止中に操作ボタン（CHP/TIME ボタン、SUBTITLE ボタン、AUDIO ボタン、ANGLE ボタン）を押したときと同じメニューです。各説明の項目を参照してください。
ディスクに以下の4つのメニューに相当する内容が記録されている場合は、ディスクのメニューを表示します。各メニューに対応した操作でお楽しみください。また、ディスクにメニューが入っていない場合は、本機のメニュー（下記のメニュー）を表示します。

チャプターメニュー　図6

チャプターメニュー：
チャプターを選んで再生できます。
18ページの「チャプターサーチ」の選択画面と同じです。

音声メニュー　図7

オーディオメニュー：
音声言語や音声の種類を選ぶときのメニューです。
33ページの「音声言語を選ぶ」の選択画面と同じです。

字幕メニュー　図8

サブタイトルメニュー：
字幕を選ぶときのメニューです。
32ページの「字幕言語を選ぶ」の選択画面と同じです。

アングルメニュー　図9

アングルメニュー：
見たい方向からの映像を選ぶときのメニューです。
32ページの「見たい方向からの映像を選ぶ」の選択画面と同じです。

さまざまな設定を変更する

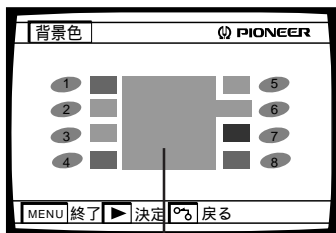
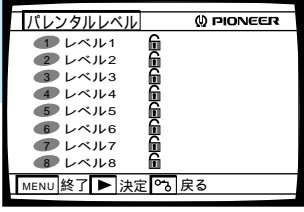
各ディスクのセットアップメニュー

DVD

CD

セットアップ PIONEER
1 表示位置 ・ ノーマル
2 表示言語 ・ 日本語
3 クリック音 ・ オン
4 スクリーンセーバー ・ オン
5 背景色 ・
6 セットアップ決定
MENU 終了 ▶ 決定 戻る

ビデオ CD

LD

		初期状態（工場出荷時）	
① **表示位置**	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、動作表示が画面の上にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでも動作表示をみることができるようになります。	**ノーマル** 通常のテレビ（4：3）を使用するとき	**ワイド** ワイドテレビを使用する場合 （メニュー画面は対応していません。）
② **表示言語**	動作表示と各メニュー画面を日本語表示か英語表示に切り換える設定です。	**日本語** 例）プレイ	**英語** 例）PLAY
③ **クリック音**	画面で設定するときに、操作音を出すか出さないかの設定です。	**オン**＊1 音が出る	**オフ** 音が出ない
④ **スクリーンセーバー**	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。 本機ではメニュー画面などを長時間（5分以上）表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。	**オン** スクリーンセーバーが機能する	**オフ** スクリーンセーバーが機能しない
⑤ **背景色**	メニュー画面や停止状態の画面の色を8色の中から、お好みの１色を選択できます。 （初期状態は４番の色です。）	背景色 PIONEER 1 2 3 4 5 6 7 8 MENU 終了 ▶ 決定 戻る 選んだ色に変わります	

⑥**D.R.COMP**	ダイナミックレンジコンプレッションのことです。DVDでは、音声のダイナミックレンジが広くなっています。お手持ちのステレオシステムやテレビで会議等の音声が聞きづらい場合、オンに設定します。	**オフ** 広いダイナミックレンジでお楽しみいただけます。	**オン** ダイナミックレンジを圧縮します。
⑦ **デジタル光出力**	本機の光デジタル出力端子から出力する音声を変更できます。 DVDでは、ドルビーデジタル音声（映画館などで使用されている立体的な音声）とリニアPCM（CDでおなじみのデジタル音声）2通りの規格があります。 AC-3/PCM ドルビーデジタルの音声は、そのままドルビーデジタル信号で出力し、リニアPCMの音声なら、リニアPCMの音声で出力します。 PCM ドルビーデジタルの音声は、リニアPCMに変換して出力し、リニアPCMの音声は、そのままリニアPCMの音声で出力します。	**AC-3/PCM** ドルビーデジタル（AC-3）デコーダを搭載したアンプのドルビーデジタル（AC-3）光入力端子と接続した場合。	**PCM** 通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプなどの光入力端子と接続した場合。
⑨ **パレンタルレベル**	視聴制限のことをいいます。映像内容によって再生制限をかける機能です。 本プレーヤーはディスクに視聴制限コードが記録してあれば視聴制限（パレンタルロック）をかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき暴力シーン等で子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの説明書をお読みください。 一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとレベルの変更はできません。 暗証番号は忘れないように控えておいてください。もし、忘れてしまったときは、初期状態＊2に戻して再び設定できます。	数字ボタンで暗証番号を設定する。 制限レベルを設定する。	
⑩ **ソフトメニュー**	ディスクに入っているメニューの言語が何カ国語にも対応しているものでは、その中から選べます。		

LDのとき

⑦ **グラフィックス**	LDグラフィックス、CDグラフィックスディスクを使用して、表示位置、グラフィックスチャンネルの設定を行うことができます。	設定のしかたは、29、30ページを参照してください。
⑧**V-DNR**	ビデオ・デジタル・ノイズ・リダクションのことです。ノイズや色ムラを低減させる機能です。	設定のしかたは、31ページを参照してください。

セットアップ決定	セットアップ画面で変更した内容で終了します。	―――――

ご注意

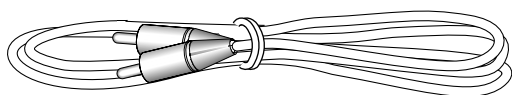
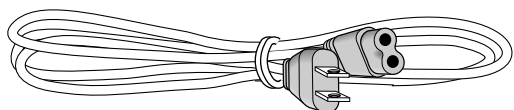
＊1 デジタル出力端子（光、同軸）ではAC-3デジタル出力時はクリック音は出ません。
＊2 パレンタルレベルの暗証番号、コンディションメモリー、ラストメモリー、セットアップ情報等のすべての設定を初期状態（工場出荷時）に戻すには、電源がオフの状態から、前面の**ストップボタン**（■）を押しながら**電源スイッチ（POWER）**を押してください。
●電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源を切ってしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードを抜くときは、必ず前面の**電源スイッチ**、リモコンの**電源ボタン**を押して電源を切ってから行ってください。

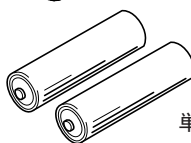
準備

その他

ご使用のまえに

付属品を確認しよう

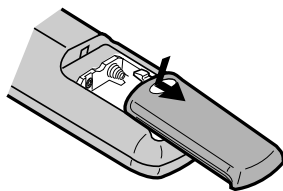
オーディオコード

ビデオコード

電源コード

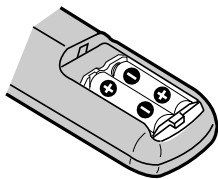
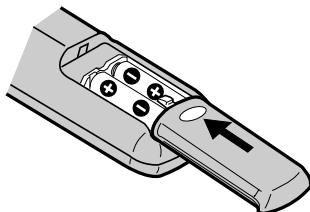
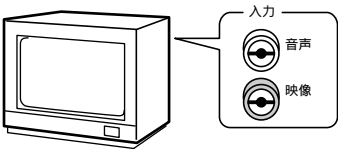
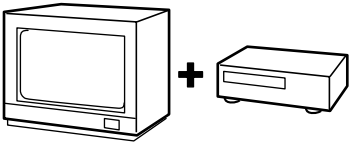
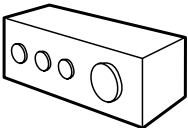
リモートコントロールユニット

単 4 形乾電池……2 個

●保証書
●ご相談窓口・修理窓口のご案内
●取扱説明書（本書）
●安全上のご注意

リモコンに電池を入れる

1 裏ブタを押しながら矢印の方向へ引きます

●フタがはずれます。

2 単 4 形電池を入れる

●乾電池のプラス（＋）とマイナス（－）の向きを乾電池の表示通りに入れてください。

3 フタを閉める

ご注意

●新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
●乾電池は同じ形状のもので電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
●長い間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐために乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

接続のしかた

お手持ちのテレビ（ビデオ）に合わせて下記より選んでください。

	お手持ちの機器	参照する図	コメント
映像入力のあるテレビ	入力 音声 映像	図1	テレビに映像入力があり、空いていれば、この接続方法がもっとも簡単です。
テレビとVTRが接続されている	+	図2	テレビの映像入力が2〜3系統あり、映像入力が空いているならば、図1の接続の方が便利です。
ドルビーデジタル（AC-3）入力のあるアンプ		図3	ドルビーデジタル（AC-3）入力の有るアンプに接続する場合です。

●**さらに、通常のステレオアンプなどと接続もできます。これらの機器とも接続する場合は図4、5を参照してください。**
●付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。

図１　音声／映像入力端子のある AV テレビを使用する場合

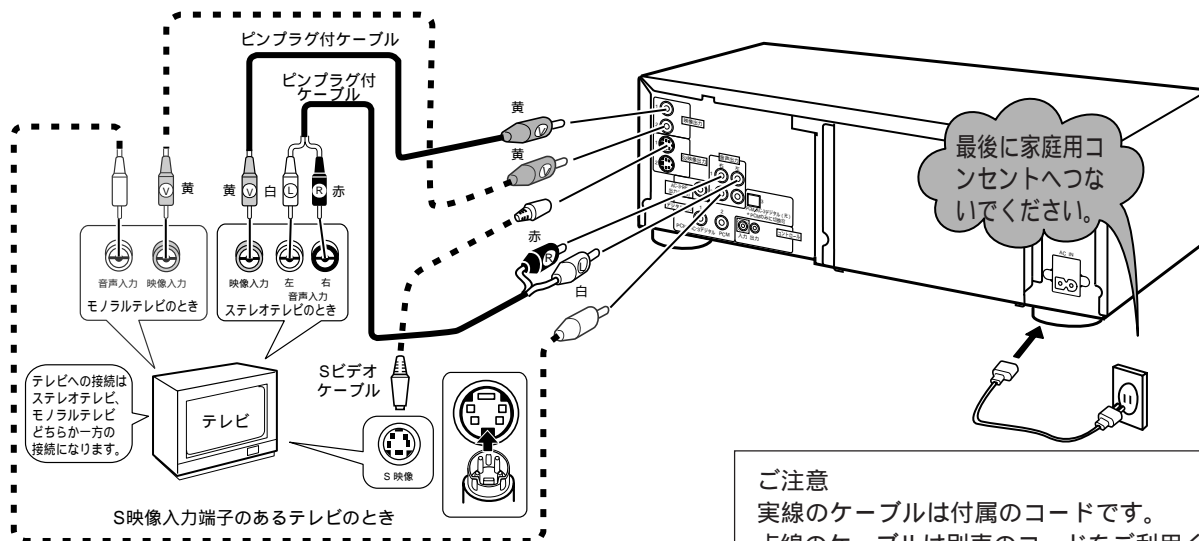
●端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。
●映像入力が何系統かあるテレビの場合、画面の選択をしてください。（ビデオ１、ビデオ２など）
●Ｓ映像入力のテレビへは、本機のＳ映像出力１を使用し、S1 または S2 映像入力のテレビへは本機のＳ映像出力２と接続してください。
●接続するテレビ（モニターテレビまたは VTR）の取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意
実線のケーブルは付属のコードです。
点線のケーブルは別売のコードをご利用ください。

図２　VTR と組み合わせて使用する場合

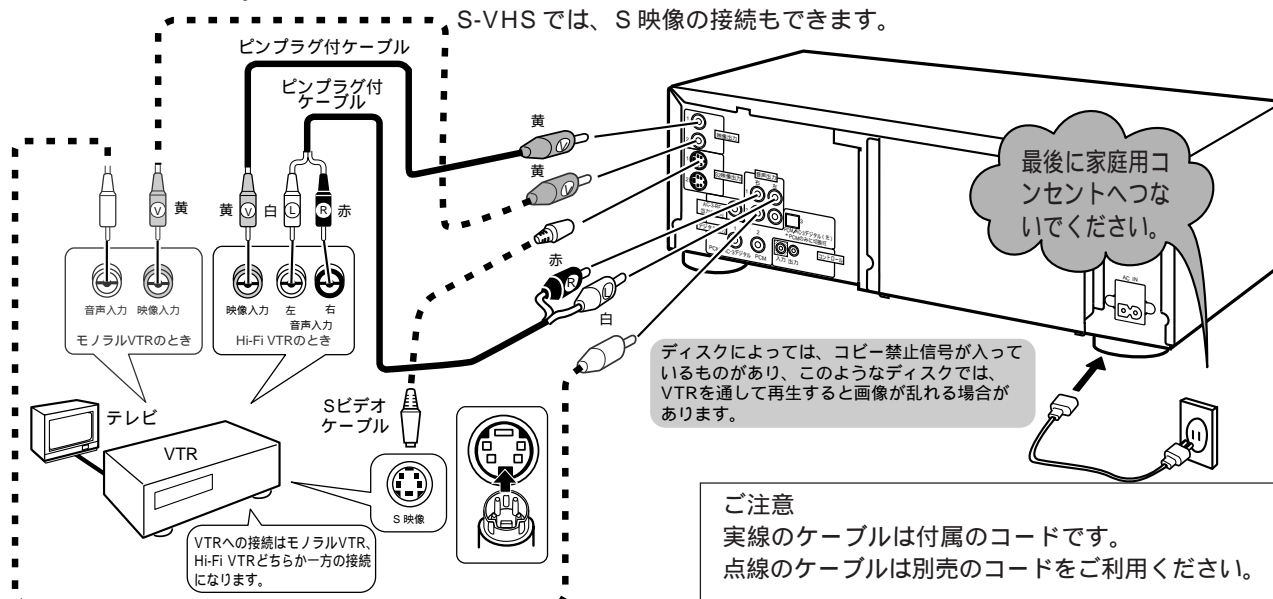
●端子の色（白、赤、黄）とプラグの色を合わせて接続します。
●Ｓ映像入力の VTR へは、本機のＳ映像出力１を使用し、S1 または S2 映像入力の VTR へは本機のＳ映像出力２と接続してください。
●下記の接続では、DVD を見る場合 VTR の電源を入れ、VTR の入力を「外部入力」へ切り換えてください。テレビでは VTR を選びます。

ご注意
実線のケーブルは付属のコードです。
点線のケーブルは別売のコードをご利用ください。

図 3 ドルビーデジタル（AC-3）対応アンプと接続する場合（その 1）

●本機のAC-3/PCMデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプのドルビーデジタル (AC-3) 入力端子に接続します。同軸ケーブル接続または光ケーブル接続どちらか一方でもかまいません。
●本機のAC-3 RF出力端子とドルビーデジタル対応アンプのAC-3 RF入力端子に接続します。他の端子には絶対に接続しないでください。
●光ケーブルを使用する場合は40ページの「デジタル光出力を設定する」の操作で、必ずAC-3/PCMに設定してください。
●LDのアナログオーディオはデジタル出力されませんので、音声入力をお使いください。

1 ドルビーデジタル (AC-3) 入力端子とAC-3 RF入力端子が同一の入力ファンクションにある場合

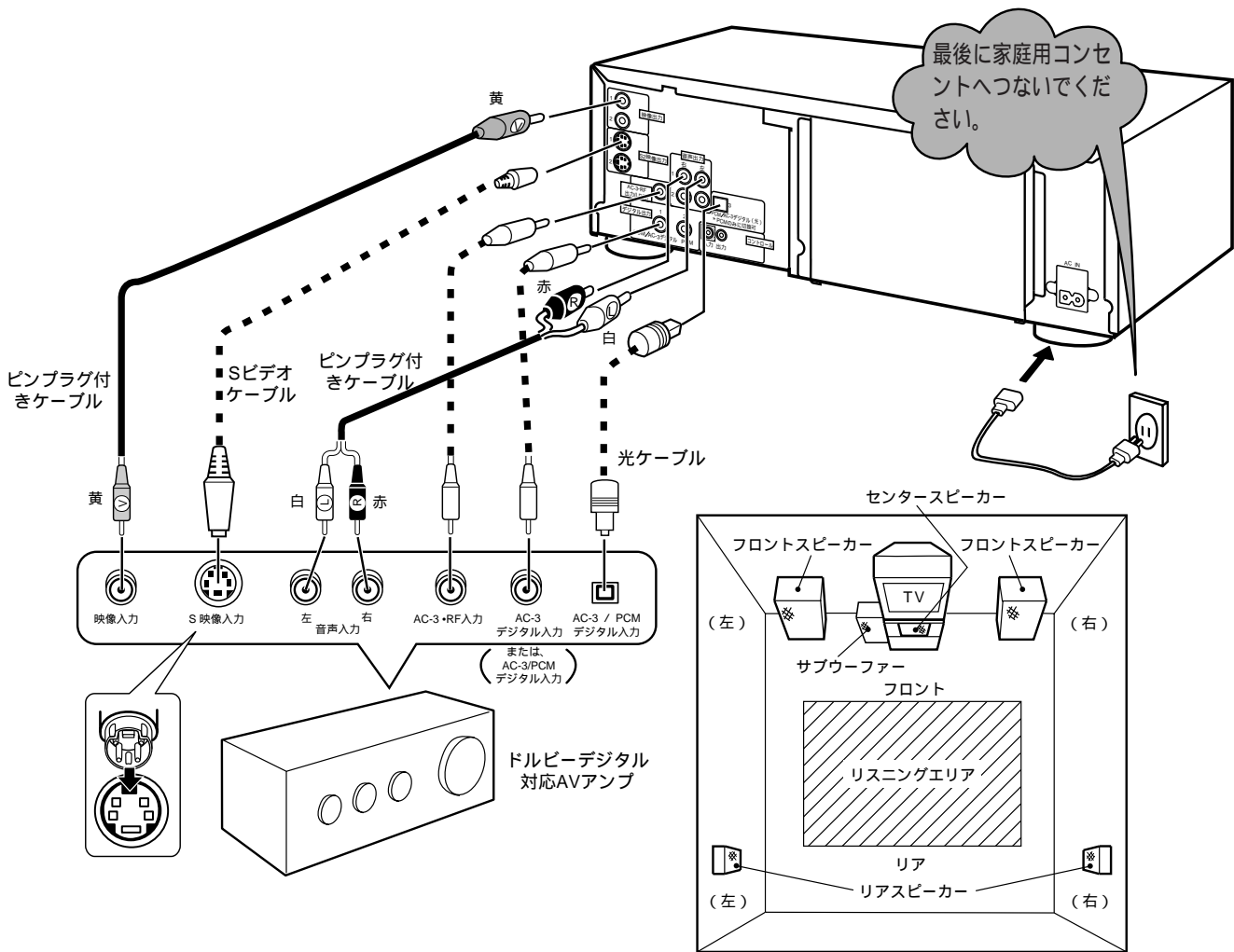



図 3 ドルビーデジタル（AC-3）対応アンプと接続する場合（その 2）

2 AC-3 デジタル入力端子と AC-3 RF 入力端子が違う入力ファンクションにある場合

●LD を再生する場合はアンプの入力ファンクションを下図 1 で接続した方にしてください。
●DVD、CD を再生する場合はアンプの入力ファンクションを下図 2 で接続した方にしてください。

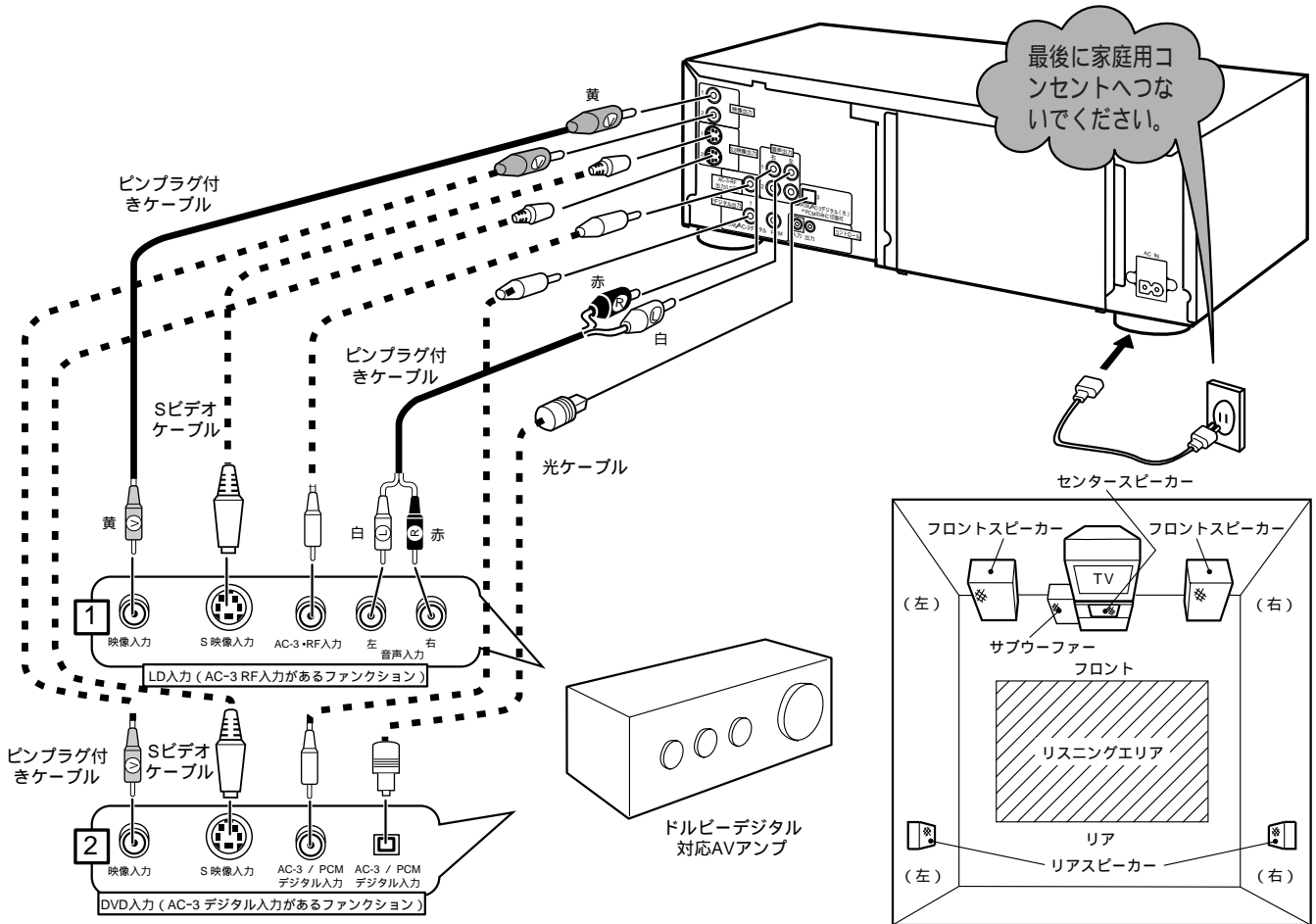
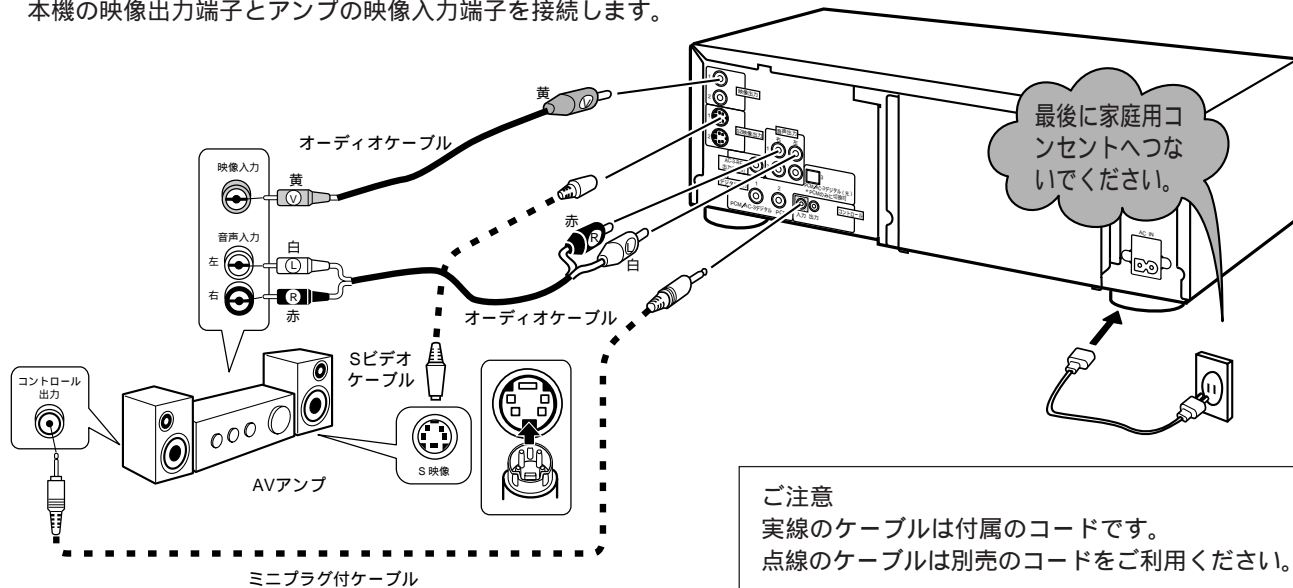



図 4 音声をより良い音質で再生したい場合

通常の AV アンプやステレオアンプへあるいは、ドルビープロロジックアンプに接続すると、ディスクの音声をより良い音質で再生することができます。

●本機の音声出力端子とアンプの CD、LD、AUX などの音声入力端子を接続します。
（PHONO 端子には接続しないでください）

●本機の映像出力端子とアンプの映像入力端子を接続します。

ご注意
実線のケーブルは付属のコードです。
点線のケーブルは別売のコードをご利用ください。

●パイオニアの SR マーク付きの機器と接続する場合は

市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし）を使って、本機のコントロール入力端子と SR マーク付きの機器のコントロール出力端子を接続すると、システムとして本機もコントロールできます。

●システムコントロール接続をすると、本機に向けてリモコンで直接操作することはできません。

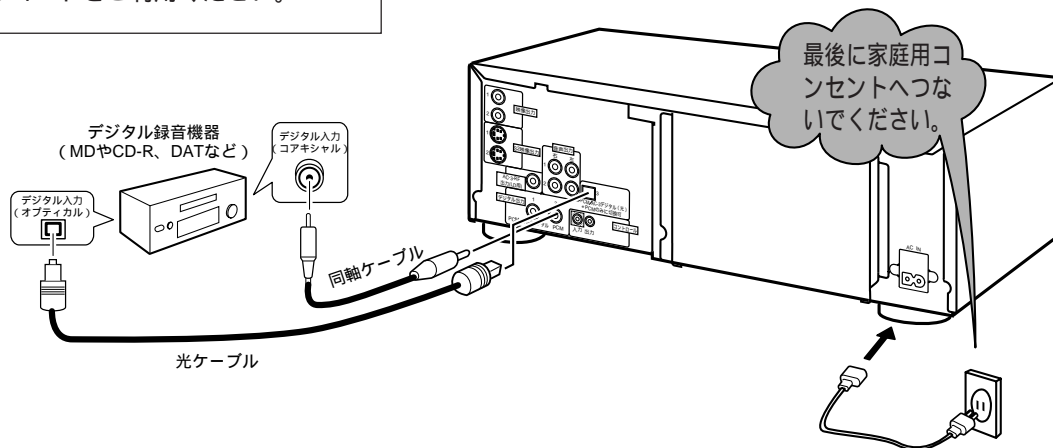
●詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

図 5 図 4 の接続に加えさらにデジタル録音機器を接続したい場合

MD や CD-R、DAT などの録音機器を接続することができます。

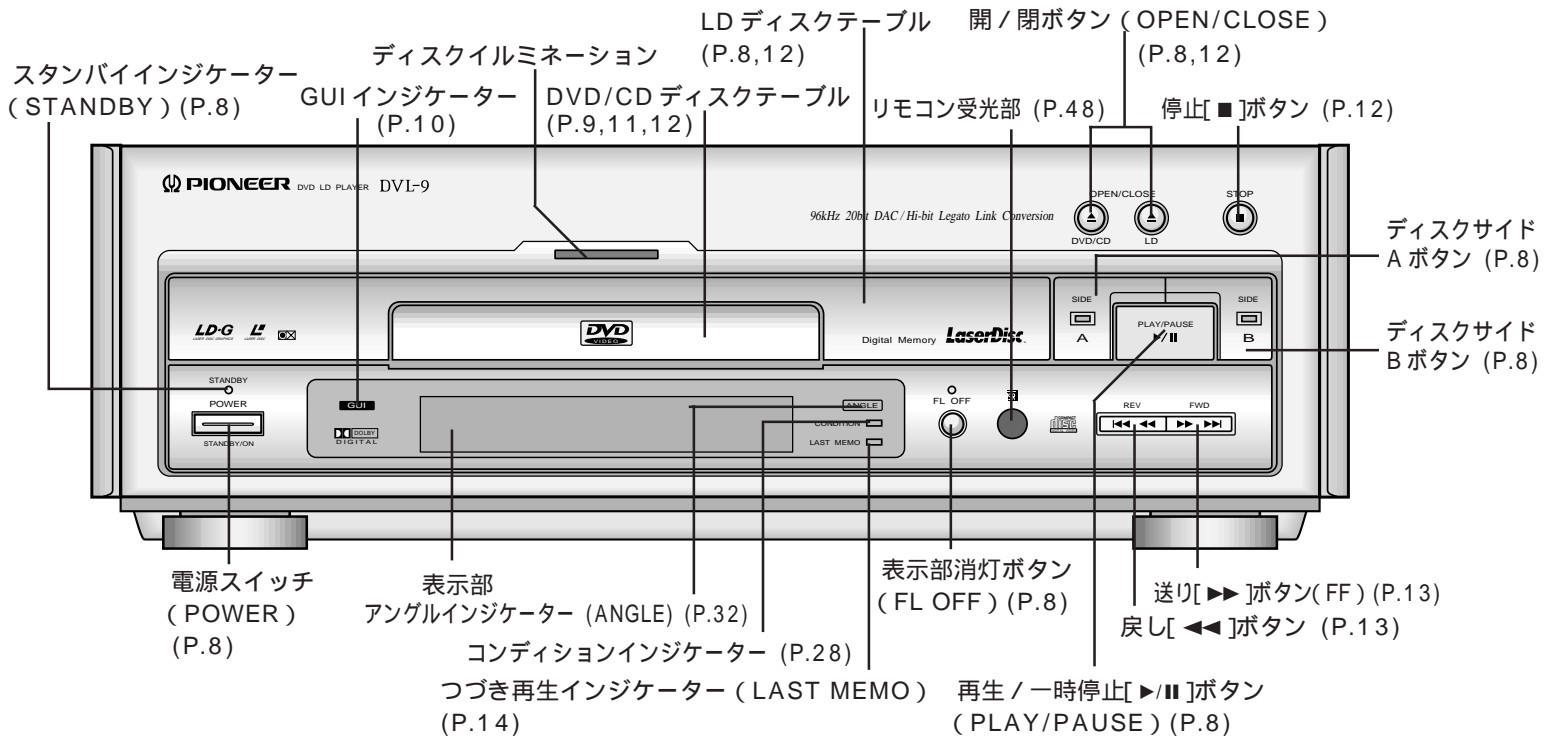
●本機の光デジタル出力端子と録音機器の光デジタル入力端子を接続します。

ご注意
ケーブルは別売のコードをご利用ください。

ご注意

ドルビーデジタル対応の DVD を録音するときは、40 ページ「デジタル光出力を設定する」の操作で、必ず **PCM** に設定してください。
DVD がドルビーデジタル（AC-3）で記録されている場合は、AC-3/PCM のままでは、ノイズを録音してしまいます。

各部の名称

■前面部

（　）印は、説明のあるページです。

表示窓

ディスク面（A面／B面）を示します。

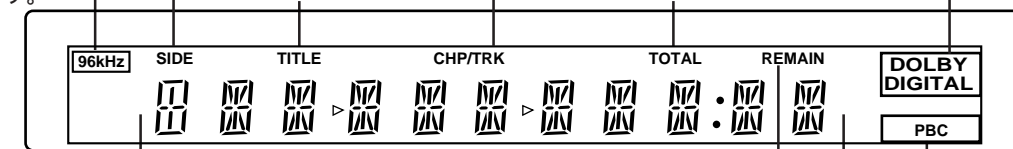
サンプリング周波数が96kHz のディスクを再生すると点灯します。

チャプターやトラックの表示中を示します。

ドルビーデジタル再生中を示します。

タイトル表示中を示します。

再生面の総再生時間表示を示します。

96kHz　SIDE　TITLE　CHP/TRK　TOTAL　REMAIN　DOLBY DIGITAL　PBC

下記のような操作時の機能やタイトル、ディスクの種類などが表示されます。

再生の残り時間表示を示します。

ビデオ CD のプレイバックコントロール中を示します。

L D: レーザーディスク	P L A Y: 再生開始
C D: コンパクトディスク	S T O P: 再生停止
C D V: ビデオ付きコンパクトディスク	P A U S E：一時停止
D V D: DVD	N O D I S C: ディスク無し
V C D: ビデオ CD	-- O F F --：電源が切れる
O P E N: ディスクテーブルを開く準備中	S I D E A(B)：ディスクサイド
C L O S E: ディスクテーブルを閉じる動作中	

＊1と2があり、2系統同時接続できます。
たとえば、1をテレビに接続し、2をAVアンプに接続することができます。

■後面部

S映像出力端子
1：S端子（通常のS出力です）
2：S2端子（ワイドTV用認識信号を同時に出力します）
S2機能はDVD再生時のみ有効です。
お手持ちのワイドTV等S2対応端子と接続する事によって、自動的にテレビ等の設定が切り換わります。

お手持ちのアンプ			
	通常のAVアンプ	同軸	PCM専用端子を接続
		光	光出力を接続しメニューでPCM専用端子としてください。
	AC-3対応アンプ	同軸	PCM/AC-3端子を接続
		光	光出力を接続しメニューでPCM/AC-3端子としてください。

映像出力端子＊

音声出力端子＊

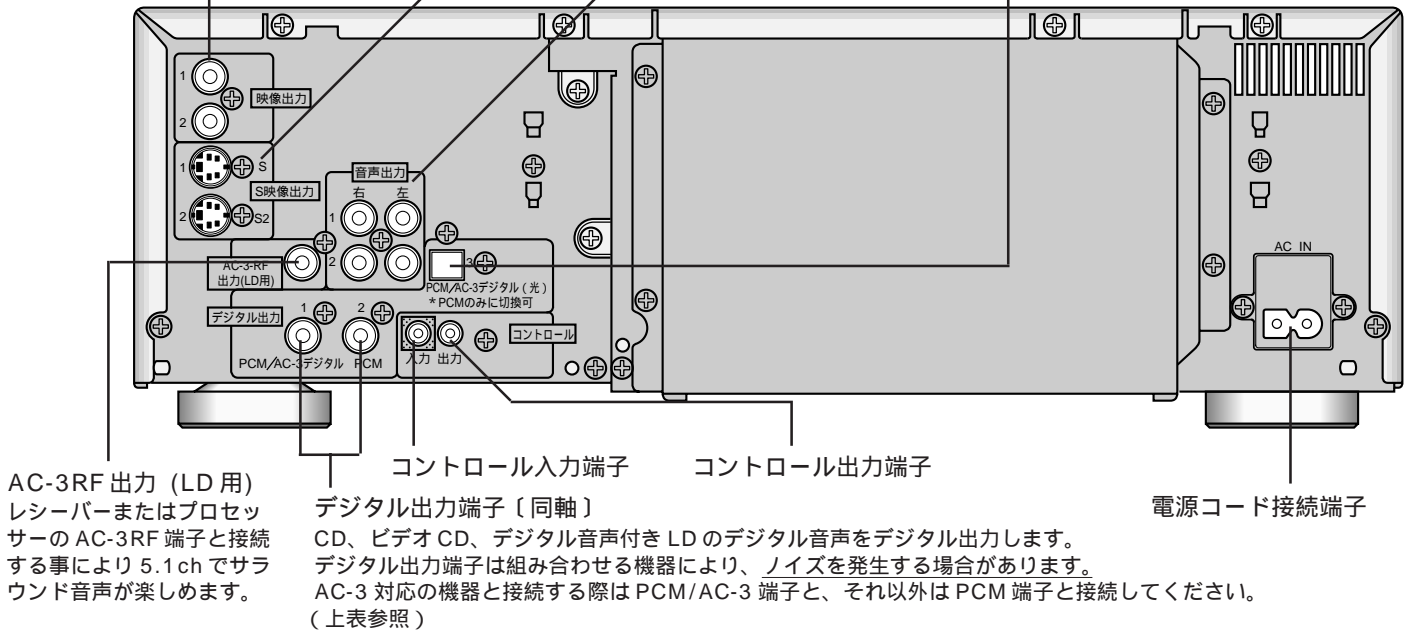
光デジタル出力端子
音声を光デジタル出力します。AC-3/PCMとPCM専用に切り換えられます。

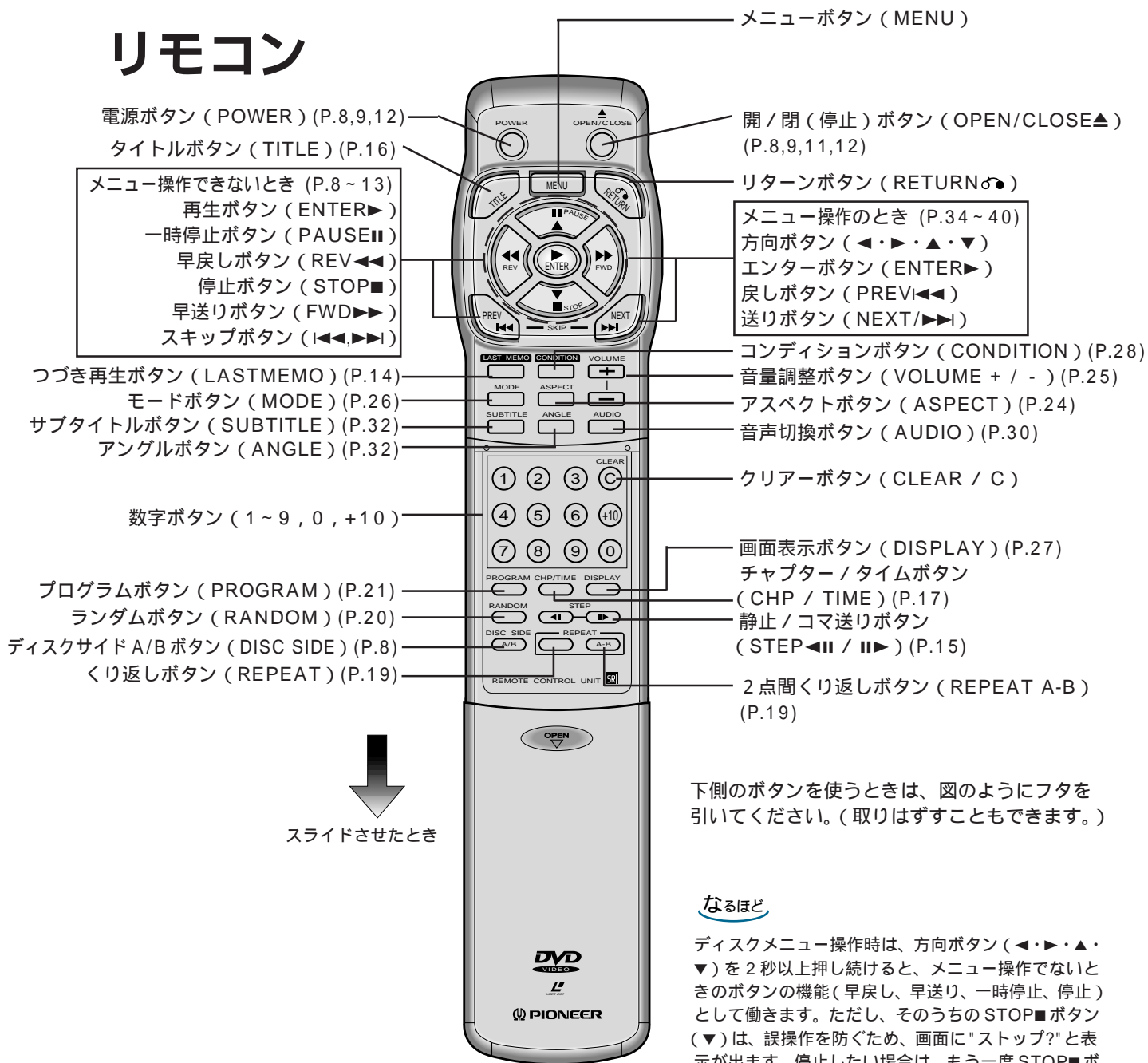
AC-3RF出力（LD用）
レシーバーまたはプロセッサーのAC-3RF端子と接続する事により5.1chでサラウンド音声が楽しめます。

コントロール入力端子

コントロール出力端子

電源コード接続端子

デジタル出力端子〔同軸〕
CD、ビデオCD、デジタル音声付きLDのデジタル音声をデジタル出力します。
デジタル出力端子は組み合わせる機器により、ノイズを発生する場合があります。
AC-3対応の機器と接続する際はPCM/AC-3端子と、それ以外はPCM端子と接続してください。
（上表参照）

RDM: ランダム再生
PROGRAM: プログラムモード
R - TRK: くり返しモード
R - A: 2点間くり返しの初めの点
R - AB: 2点間くり返し
R - TTL: タイトルのくり返し
R - SID: LDの両面のくり返し
COND,MEMORY: コンディションメモリー
LAST MEMORY: つづき再生
CINEMA1: シネマ1モード
CINEMA2: シネマ2モード
ANIMATION: アニメーションモード
STANDARD: 標準モード
STEREO: ステレオ

MENU: メニュー状態
TITLE: タイトルメニュー時
CHAPTER: チャプターメニュー時
SUB - TITLE: サブタイトルメニュー時
SETUP: セットアップメニュー時
ANGLE: アングルメニュー
AUDIO: オーディオメニュー時
DOLBY DIGITAL 5.1CH:
ドルビーデジタルサラウンド5.1ch
PC 96K: 96KPCMオーディオ
PC 48K: 48KPCMオーディオ
MPEG AUDIO: MPEG1またはMPEG2オーディオ

■リモコン

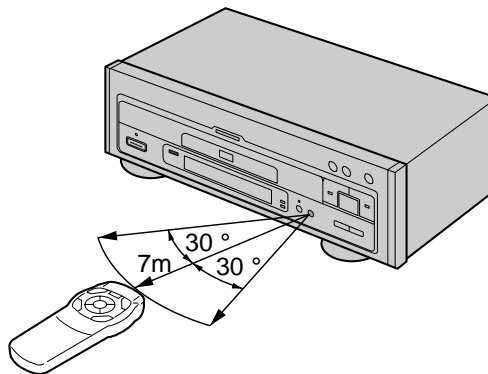
下側のボタンを使うときは、図のようにフタを引いてください。（取りはずすこともできます。）

なるほど

ディスクメニュー操作時は、**方向ボタン**（◀・▶・▲・▼）を２秒以上押し続けると、メニュー操作でないときのボタンの機能（早戻し、早送り、一時停止、停止）として働きます。ただし、そのうちの **STOP■ボタン（▼）** は、誤操作を防ぐため、画面に"ストップ?"と表示が出ます。停止したい場合は、もう一度 **STOP■ボタン（▼）** を押してください。

リモコンの操作

リモコンはプレーヤー前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は７m以内、またリモコン受光部を基準にして左右30゜までの範囲で操作できます。

- ●リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、誤動作することがあります。
- ●背面のコントロール入力端子が他の機器に接続されている場合は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。（47ページ参照）
- ●リモコンで操作するときは、電源ボタンを押して電源を入れてから操作してください。

正しく、末永くお使いいただくために

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから、電源を「切」にし、表示窓の「-OFF-」が消えてから電源コードを抜いてください。

■設置する場所

- ●組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの側の安定した場所を選んでください。
- ●ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■この他、次のような場所は避けてください。

- ●直射日光のあたる所
- ●湿気の多い所や風通しの悪い場所
- ●極端に暑い所や寒い所
- ●振動のある所
- ●ほこりの多い所
- ●油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■上に物をのせない

本機の上にものをのせないでください。

■通気孔をふさがない

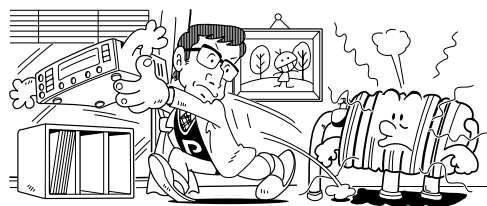
毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、プレーヤーを布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

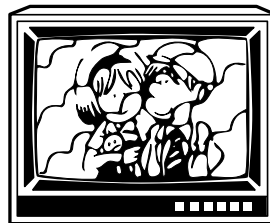
■熱を受けないように

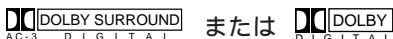
アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSE ⏏ ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■本機を使わないときは電源を切っておく

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

静電気等、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを１度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

用語

ドルビーデジタル（AC-3）*
映画館用サラウンドシステム（Surround Digital）の最大5.1チャンネル分の音声をAC-3で圧縮されたデジタルデータです。
DOLBY SURROUND AC-3 DIGITAL または DOLBY DIGITAL
ドルビーデジタル（AC-3）ディスクを楽しむには、DVDでは本機のデジタル出力AC-3/PCM端子（同軸または光どちらでも可）をアンプやプロセッサーのデジタル入力AC-3/PCM端子へ接続することが必要です。LDでは本機のAC-3 RF出力端子をアンプやプロセッサーのAC-3 RF入力へ接続することが必要です。

PCM
Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDやLD、DVDのデジタル音声がPCMです。

タイトルナンバー
映画などでいうタイトルのことです。DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、異なる3つの映画が記録されていますと、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられます。タイトルナンバーを選んで再生する操作ができます。

チャプターナンバー
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーです。本の“章”番号に相当します。このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

フレームナンバー
標準ディスクCAVのすべての画面（フレーム）ごとに記録された番号です。希望のシーンをこのフレームナンバーで探すフレームサーチなどの操作ができます。

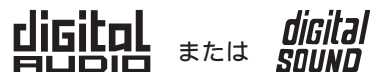
タイムナンバー
ディスクのタイトル内の最初からの再生経過時間です。希望のシーンをタイムナンバーで探すタイムナンバーサーチなどの操作ができます。

LD（レーザーディスク）
レーザーディスクには、信号の記録方式により標準ディスク（CAV）と長時間ディスク（CLV）があります。

CAV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔標準ディスク／CAV〕、または〔Standard（スタンダード） Play（プレイ）〕と表示されています。

CLV
ディスクのジャケット、またはレーベルに〔長時間ディスク／CLV〕、または〔Extended（イクステンド） Play（プレイ）〕と表示されています。

デジタル音声付きレーザーディスク
アナログ音声信号に加えて、デジタル音声信号も合わせて記録されたディスクです。レーザーディスクの高品質の映像とデジタルサウンドが同時に楽しめます。

digital AUDIO または digital SOUND

デジタル音声付きマルチオーディオディスク
デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声が記録されています。

digital AUDIO と MULTI AUDIO または digital SOUND MULTI AUDIO

デジタル音声、アナログ音声を切り換えて、それぞれの音声をお楽しみいただけます。

グラフィックスディスク
映像や音声信号以外にサブコードというデータが記録されています。このデータにグラフィックスが記録されています。
LDグラフィックスディスク：サブコードに映画の台詞や歌の歌詞などが記録されています。
ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークマークが表示されています。

CDグラフィックスディスク：カラオケ用の歌詞やカラオケ演奏を盛り上げるグラフィックス（絵）などが記録されています。
ディスクのジャケット、またはレーベルに右のマークマークが表示されています。

GRAPHICS

TOC
音声信号以外のTOC（Table（テーブル） Of（オブ） Contents（コンテンツ））という情報がディスクの始めの部分に記録されています。その名のように、本の目次に相当し、曲数や演奏時間の情報が入っています。
●LDディスクにもTOCが記録されているものがあります。
●TOC付きLDとCDVは、同じ「光学式デジタル音声付きビデオディスクシステム」の仲間です。

ビデオCD
MDと同等の音質とVHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術（MPEG1方式）により最大74分のデジタル画像と音声が連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる“プレイバックコントロール（PBC）”対応のディスクがあります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。
PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。
また高精細／標準の静止画も楽しむことができます。

高精細静止画
ビデオ CDの中に高精細な静止画が入っている場合は、動画の 4 倍の解像度で静止画を楽しむことができます。

クリック音
リモコンやコンピュータのマウスなどのプッシュスイッチを押した時、動作確認がわかりやすいように押した瞬間、音を出す機能をクリック音といいます。通常はクリック音があったほうが動作確認はしやすいのですが、近くにおやすみの方がいらっしゃる時など、耳障りに感じることがありますので、本機ではクリック音を消す設定ができるようにしてあります。

スクリーンセーバー
同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。
これを避けるため、コンピューターではスクリーンセーバーを使用することがあります。基本的には画面の輝度を落とせば同様の効果が得られますが、コンピューターのスクリーンセーバーでは一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一ヶ所に強い光線（明るい色）が集中しないようにするものもあります。

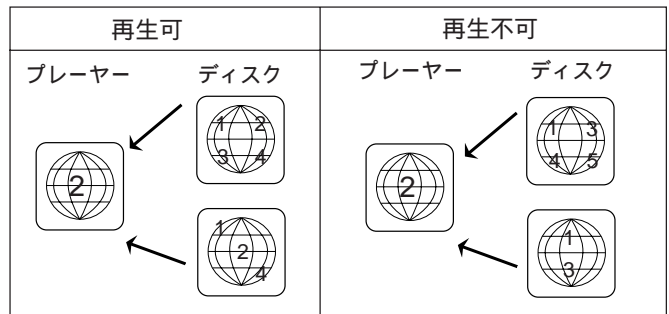
マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば、見たいところが見れるわけです。DVD には同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

パレンタルレベル
英語の綴りでは、PARENTAL（パレンタル）です。これは、PARENT（ペアレント）（親、両親）からきています。これから解るように、親が、子供に見せたくない映像に制限が付いているものです。

コンディションメモリー
コンディションとは、状態などをいいます。本機では、再生しているときのさまざまな状態を記録しておき、再び同じディスクを楽しむときに、再設定をせずに楽しめる機能です。

言語字幕
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVD では字幕の言語を最大 32 カ国分記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョン No.
DVD プレーヤーと DVD ディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョン No.）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません（このとき、画面に表示が出ます）。このプレーヤー（日本向け）の再生可能地域番号は 2 番です。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これを光ファイバーを使ったデジタル信号に変えて伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。（アンプなどの受け取り側は光デジタル入力になります。）

ダイナミックレンジ
ひずみ無く信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル（dB）を使います。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

	症　状	考えられる原因	参照ページ
操作	1. ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう。	●ディスクが極端に汚れている。 ●ディスクがディスクテーブルに正しくセットされていない。 ●プレーヤーの内部が結露している。	4 ページ 8,9 ページ
	2. 再生できない	● PAL 方式や SECAM 方式のディスクでは再生できません。	
	3.DVD再生中に画像が乱れる	●本プレーヤーはマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、ＴＶによっては一部画像に横縞が入る等の症状がでるものもありますが、故障ではありません。	
	4.DVD映像をＶＴＲに録画すると再生画像が乱れる	●本プレーヤーはマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。 ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをＶＴＲに録画し、再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
リモートコントロール	5. リモコンで操作できない。	●背面パネルのコントロール入力端子を使用している。 ●プレーヤーと離れすぎている。または、リモコン受光部との角度がありすぎる。 ●電池が消耗している。	47 ページ 50 ページ 42 ページ
	6. テレビなどが誤動作する。	●ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがある。	
音声	7. 音が出ない。音が歪む。	●接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れている。 ●接続プラグや端子が汚れている。 ●ポーズモードになっている。 ●音声ケーブルの接続が間違っている。 ●ステレオアンプの操作が間違っている。 （とくに、入力の選択が正しくされているか（CD、LD 等）確認してください。） ●ステレオアンプの PHONO 入力端子と接続している。	43～47 ページ

ご注意：
静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は
お買い上げの販売店または、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談・修理窓口のご案内」をご覧ください。
修理を依頼されるときは
52 ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションにご連絡下さい。

連絡していただきたい内容について：
- **品名　DVD LD プレーヤー**
- **品番　DVL-9**
- **お買上げ日**
- **故障の状況「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」**
- **ご住所　「付近の目印も合わせてお知らせください」**
- **お名前**
- **電話番号**
- **訪問ご希望日**

保証期間中は：
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
保証期間が過ぎているときは：
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

仕様

一般
形式 .... DVD、LD、ビデオ CD およびコンパクトディスクデジタルオーディオシステム
電源 .... AC100V、50/60Hz
消費電力 48W
重量 9.0kg
外形寸法 .. 440（幅）× 463 ×（奥行）× 140（高さ）mm
許容動作温度 .... ＋ 5℃〜＋ 35℃
許容動作湿度 .... 5%〜85%（結露のないこと）

S 映像出力＜ 2 系統＞
1がS映像出力、2がS2映像出力です。
Y 出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S 端子

ビデオ出力 ＜ 2 系統＞
出力レベル .... 1Vp-p（75 Ω負荷時、同期負）
出力端子 .... ピンジャック

オーディオ出力＜ 2 系統＞
出力レベル
　アナログ音声出力.......................... 200mVrms（1KHz、40%）
　デジタル音声出力.......................... 200mVrms（1KHz、－ 20dB）
チャンネル数 .... 2 チャンネル

デジタル音声特性（DVD　fs=48 kHz時）

周波数特性	4Hz〜22kHz（DVD） 4Hz〜20kHz（LD、CD）
SN 比	115dB（EIAJ）
ダイナミックレンジ	97dB　(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定限界（± 0.001%W.PEAK） 以下　(EIAJ)

LD は EIAJ に準拠

その他の端子
光デジタル出力（PCM/AC-3）.......................... 光コネクター
同軸デジタル出力（PCM/AC-3）.......................... ピンジャック
同軸デジタル出力（PCM）.......................... ピンジャック
AC-3RF 出力（LD 用）.......................... ピンジャック
コントロール入力／出力 .... ミニジャック（3.5 φ）

付属品
リモコンユニット 1
単 4 形乾電池（R03）.......................... 2
オーディオコード 1
ビデオコード 1
電源コード 1
取扱説明書、安全上のご注意、保証書、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 .... 各 1

●本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添『ご相談窓口·修理窓口のご案内』）参照

お客様相談センター		●03－3491－8181		
技術相談窓口	◎札　幌	●011-644-4779	◎大　阪	●06-353-3705
	◎仙　台	●022-375-4417	◎広　島	●082-228-2239
	◎名古屋	●052-532-1141	◎福　岡	●092-441-8076

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

●おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型　番	この機種は DVL-9 です

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153　東京都目黒区目黒1丁目4番1号